郷土ひろしまの歴史Ⅱ

～身近な地域の歴史を調べてみよう！～

広島県教育委員会

平成26年3月

◇　はじめに　◇

広島県には，世界文化遺産の厳島神社，原爆ドームをはじめ，ユネスコの無形文化遺産である壬生の花田植，国史跡の広島城跡や安芸国分寺跡などの文化財や各地域で受け継がれている伝統・文化が数多くあります。また，毛利元就，頼山陽，菅茶山，池田勇人など歴史上の著名な人物も数多く輩出しています。

「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」では，江戸時代までの広島県の歴史を，本教材「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」では，明治時代以降の広島県の歴史と現在まで継承されている伝統芸能・文化や産業を取り上げました。中学生のみなさんには，この二つの教材を次のような視点で活用してほしいと思います。

それぞれの時代において，広島県や身近な地域はどのような様子だったのでしょうか。人々はどのように考え，どのように生きてきたのでしょうか。全国や他の地方，さらに他の国との関わりはどうだったのでしょうか。それらのできごとは現在とどうつながっているのでしょうか。

広島県で学ぶ中学生のみなさんが，郷土広島の歴史や伝統・文化に対する理解を深め，これらを愛し尊重する心をもってもらいたいと思います。そのことが我が国の歴史や伝統・文化をより深く理解することにつながります。

また，我が国や郷土の歴史や伝統・文化は諸外国の歴史や伝統・文化とも深く関わっていることを理解し，諸外国の歴史や伝統・文化を尊重し，ともに歩んでいける力を身に付けてもらいたいと思います。

さあ，この教材を活用して，広島県の歴史について理解するとともに，身近な地域の歴史を調べるときの調べ方や学び方を身に付けていきましょう。

◇ 目 次 ◇

◇ 教材の使い方 ……1
◇ ひろしまの歴史 年表 ……2
◇ 「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」
1 明治維新とひろしま ～千田貞暁～ ……4
2 富国強兵とひろしま ～軍港 呉～ ……8
3 明治時代の民衆とひろしま ～海外への移民～ ……14
4 第一次世界大戦とひろしま ～加藤友三郎～ ……18
5 第二次世界大戦とひろしま ～原爆ドーム～ ……24
6 戦後復興とひろしま ～産業～ ……30
7 高度経済成長とひろしま ～池田勇人～ ……34
8 日本の伝統芸能とひろしま ～壬生の花田植～ ……38
9 日本の伝統文化とひろしま ～上田宗箇～ ……42
10 日本の伝統産業とひろしま ～熊野筆～ ……46
◇ 広島県名誉県民 ……50
◇ 主な参考文献一覧，協力機関・協力者一覧 ……54
◇ 主な歴史博物館・資料館一覧 ……56

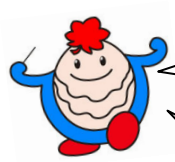
「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」

1 日本列島の誕生とひろしま
2 大和政権とひろしま
3 律令国家の成立とひろしま
4 武士の成長とひろしま
5 中世民衆のくらしとひろしま
6 戦国大名とひろしま
7 幕藩体制とひろしま
8 鎖国下の外交とひろしま
9 江戸時代の文化とひろしま
10 江戸幕府の衰退とひろしま

◇　教材の使い方　◇

この教材では，広島県の歴史の概要や身近な地域の歴史を調べるときの調べ方や学び方を示しています。ブンカッキーと一緒にこの教材の使い方を確認していきましょう！

１　広島県の歴史を学ぼう！



ブンカッキー

「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」では，主に明治時代以降の広島県の歴史を取り上げているよ。

明治時代以降も，日本の政治や文化などにかかわって活躍する人物がたくさんいるよ。

明治維新で，日本は政治や外交，文化などが大きく変わっていくけど，広島県はどうだったのかを知りたいわ。

社会の大きな変化や世界とのつながりが強くなる中で，広島県の人々はどのように生きてきたのかなぁ？

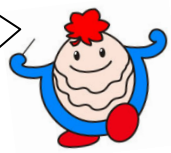
みなさんが住んでいる地域にも，その地域ならではの歴史があります。この教材を参考に，身近な地域の歴史や広島県の歴史を調べましょう。その際，地域の博物館や郷土資料館などに出かけましょう。さらに，身近な地域の歴史を学ぶことを通して，我が国の歴史の動きを具体的に学ぶことが大切です。そして，身近な地域や広島県の歴史や伝統・文化に対する理解を深め，これらを大切にする心をもってほしいと思います。

広島県の歴史をしっかり学んでいきましょう！

２　身近な地域の歴史の調べ方や学び方を身に付けよう！

「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」では，出土品，文書や当時の地図を調べたら，当時の政治や人々の暮らしの様子が分かったけど，明治以降は，どのようなものを調べたらいいのかな？

明治時代以降は，統計資料（グラフ，表）がたくさん出てくるよ。統計資料があると年ごとの変化とか，他の地域との比較ができるようになるよ。それから，地図も正確になるし，文書（記録）も充実してくるよ。



身近な地域の歴史を調べるときには，何に着目して，どのような方法で調べていけばよいでしょうか。また，調べる時代に応じてどんな資料を活用すればよいでしょうか。この教材で，それぞれの時代やテーマに応じてどんな資料が使われているのかを参考にし，身近な地域の歴史の調べ方や学び方をしっかり身に付けましょう！

身近な地域の歴史を調べる時には，他の地域（他の国）とのつながりや我が国の歴史とのかかわりを考えることも大切です。また，同じ時代の他の分野とのつながり，現在の私たちの生活とのつながりなど，様々な面から考えてみましょう。

各テーマの最後にある「もっと調べてみよう！郷土の歴史」や「もっと知りたい！郷土の歴史」を参考に学習を深めていきましょう！

◇　ひろしまの歴史　年表　◇

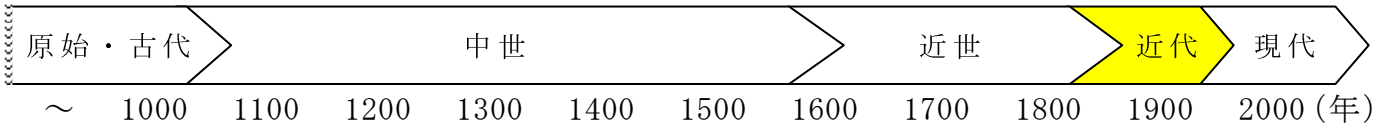
「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」掲載内容　　「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」掲載内容

区分		年代	広島県のおもなできごと	年代	日本のおもなできごと
原始・古代	旧石器	紀元前	冠遺跡群（廿日市市），下本谷遺跡（三次市）	紀元前	日本列島が誕生する 採集や狩りによって生活する
	縄文		帝釈峡遺跡群（庄原市・神石高原町），大田貝塚（尾道市），洗谷貝塚（福山市），比治山貝塚（広島市） **帝釈峡遺跡群 P6～P9**		
	弥生	紀元	木の宗山遺跡・中山貝塚（広島市），西本遺跡群（東広島市），大宮遺跡・御領遺跡（福山市），和田原遺跡群（庄原市），矢谷墳丘墓（三次市）		稲作，金属器の使用が始まる
	古墳		中小田古墳群（広島市），甲立古墳（安芸高田市），辰ノ口古墳（神石高原町），三ツ城古墳（東広島市），浄楽寺・七ツ塚古墳群（三次市），二子塚古墳（福山市） **三ツ城古墳 P10～P13**	紀元 57 239 593	倭奴国王が後漢に使いを送る 卑弥呼が魏に使いを送る 聖徳太子が摂政になる
	飛鳥	618	造船の使者が安芸に派遣され，船を造る	645 710	大化の改新がはじまる 都を平城京（奈良）に移す
	奈良	741	この頃に安芸国や備後国がおかれる 安芸国分寺（東広島市），備後国分寺（福山市）の建立が始まる **備後国府と安芸国分寺 P14～P17**	741	国分寺建立の詔が出される
	平安	1151 1160 1186	平清盛が安芸守となる 平清盛が厳島神社に参詣する 後白河上皇が大田荘（世羅町）を高野山に寄進する **厳島神社と平清盛 P18～P21**	794 894 1086 1167	都を平安京（京都）に移す 遣唐使が停止される 白河上皇が院政をはじめる 平清盛が太政大臣となる
中世	鎌倉	1221	承久の乱の結果，関東の御家人が安芸国内の地頭に任命される この頃に草戸千軒（福山市）の町ができる **草戸千軒町遺跡 P22～P25**	1192 1221 1232 1274 1281 1333	源頼朝が征夷大将軍となる 承久の乱 御成敗式目の制定 文永の役 弘安の役 鎌倉幕府が滅びる
	南北朝	1335 1336	安芸国守護武田信武が足利尊氏方として挙兵する 足利尊氏が九州から京都に攻めのぼる途中，浄土寺（尾道市）に立ち寄る	1334 1336 1338 1392	建武の新政がはじまる 南北朝に分かれ，対立する 足利尊氏が征夷大将軍となる 南北朝が統一される
	室町			1467	応仁の乱（～77）
	戦国	1485 1523 1541 1555	浄土寺領・櫃田村（三次市）の百姓が連判して，武士の代官を拒否する 毛利元就が毛利家を相続し，郡山城に入る 毛利元就が尼子晴久を破る 毛利元就が陶晴賢を厳島の戦いで破る **毛利元就 P26～P29**	1543 1549	鉄砲が伝わる キリスト教が伝わる
近世	安土桃山	1589 1601	毛利輝元が「広島」と名付け，広島城の築城がはじまる 福島正則が毛利氏に代わって広島城に入る **広島城と城下町 P30～P33**	1573 1576 1590 1592 1600 1603	足利義昭が京都から追放される 織田信長が安土城を築く 豊臣秀吉が全国を統一する 朝鮮出兵（文禄・慶長の役）（～98） 関ヶ原の戦い 徳川家康が征夷大将軍となる
	江戸		朝鮮通信使が下蒲刈の三之瀬（呉市）や鞆（福山市）に停泊する **朝鮮通信使 P34～P37**		

区分		年代	広島県のおもなできごと	年代	日本のおもなできごと
近世	江戸	1619	福島正則が改易され，浅野長晟が広島城に，水野勝成が神辺城に入る	1615	豊臣氏が滅びる
		1622	福山城が完成し，水野勝成が神辺城から移る		武家諸法度の制定
		1633	広島藩でキリシタン改めが行われる	1637	島原・天草一揆(～38)
				1641	オランダ商館を出島に移す
		1710	阿部正邦が宇都宮から福山に国替えとなる		
		1717	福山藩・広島藩で全藩一揆がおこり，藩が要求を受け入れる	1716	徳川吉宗の享保の改革
				1732	享保のききん
				1772	田沼意次の政治
		1786	福山藩で天明の百姓一揆がおこる	1782	天明のききん
				1787	松平定信の寛政の改革
		1812	菅茶山が「黄葉夕陽村舎詩」を刊行する		
		1826	頼山陽が「日本外史」を完成させる	1833	天保のききん
				1837	大塩平八郎の乱
		1843	福山藩主阿部正弘が老中となる	1841	水野忠邦の天保の改革
				1853	ペリーが浦賀に来航する
		1855	福山藩が弘道館にかえて誠之館を設ける	1854	日米和親条約
		1864	第一次長州出兵のため，広島城下に諸藩が集まる	1858	日米修好通商条約
				1867	大政奉還
近代	明治	1871	廃藩置県により，広島県・福山県・中津県などが成立する	1868	五箇条の御誓文
		1876	岡山県から備後6郡が移管し，広島県域が確定する		
		1879	第１回広島県議会議員選挙		
		1885	ハワイへ集団移民が渡航する(広島県から海外への移民の始まり)	1885	伊藤博文が初代首相となる
		1888	海軍兵学校が東京から江田島に移転する	1889	大日本帝国憲法の発布
		1889	広島県令の千田貞暁が宇品港を完成させる	1890	第１回帝国議会が開催される
		1894	日清戦争により広島に大本営が設置される	1894	日清戦争(～95)
				1904	日露戦争(～05)
				1910	韓国併合
				1914	第一次世界大戦(～18)
	大正	1918	三次で米騒動がおこり，県下全域に広がる	1918	米騒動，シベリア出兵(～22)
		1920	広島出身の海軍大臣加藤友三郎(後の首相)がワシントン会議に派遣される		
				1923	関東大震災
				1931	満州事変
				1937	日中戦争(～45)
	昭和	1941	呉海軍工廠で戦艦大和が建造される	1941	太平洋戦争(～45)
		1945	呉空襲，広島原爆投下，福山空襲がつづく	1945	ポツダム宣言受諾，降伏
				1946	日本国憲法の公布
		1949	広島市が平和記念都市になる	1951	サンフランシスコ平和条約
		1955	広島平和記念資料館が落成する		日米安全保障条約
				1956	日ソ国交回復，国際連合加盟
				1964	東京オリンピック
		1960	広島出身の池田勇人が首相となり，所得倍増計画を発表する	1965	日韓基本条約
				1970	大阪万国博覧会
				1972	沖縄返還，日中国交正常化
					札幌オリンピック
		1975	広島東洋カープがセ･リーグで初優勝する	1978	日中平和友好条約
		1980	広島市が政令指定都市となる		
		1981	ローマ教皇ヨハネ=パウロ２世が広島で平和アピールを行う		
現代	平成	1994	第12回アジア競技大会広島大会が開催される		
		1996	厳島神社と原爆ドームが世界文化遺産の登録を受ける	1995	阪神・淡路大震災
				1998	長野オリンピック
		2001	芸予地震がおこり，県内各地で大きな被害が出る		
				2004	自衛隊をイラクに派遣
		2006	広島平和記念資料館が国の重要文化財に指定される	2005	愛知万国博覧会
		2011	壬生の花田植(北広島町)がユネスコの無形文化遺産条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される	2011	東日本大震災
		2012	サンフレッチェ広島がＪ１リーグで優勝する		
		2013	サンフレッチェ広島がＪ１リーグを連覇する		

菅茶山と頼山陽 P38～P41
阿部正弘 P42～P45
千田貞暁 P4～P7
軍港　呉 P8～P13
海外への移民 P14～P17
加藤友三郎 P18～P23
原爆ドーム P24～P29
産業 P30～P33
池田勇人 P34～P37
壬生の花田植 P38～P41
上田宗箇 P42～P45
熊野筆 P46～P49

1　明治維新とひろしま　～千田貞暁～



1　千田貞暁とはどのような人物でしょうか？

広島市の宇品千田廟公園があります。この公園の一角に，フロックコートに身を包み，広島湾の方角を見つめる人物の銅像があります。この銅像の人物が千田貞暁（1836～1908）です。

千田は薩摩藩の武士の子として生まれ，明治維新後は，新政府の設立に関わり，各地の県令[1]や県知事をつとめ，晩年は貴族院議員に就任しています。1880（明治13）年から1889（明治22）年までの約10年間は，広島県県令（後に県知事）として活躍しました。

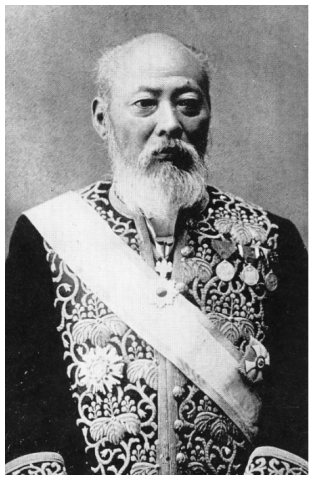
千田貞暁の銅像
（千田廟公園）

千田は，宇品港を建設した人物であり，銅像の右手に握られているのは，宇品港（現広島港）の設計図です。様々な苦労を乗り越えて建設された宇品港は，その後の広島の産業を大きく発展させることとなるのです。

千田貞暁は，なぜ宇品に新しい港を築いたのでしょうか。また，宇品港は，どのように築かれ，後の広島にどのような影響を与えたのでしょうか？

2　千田貞暁は，なぜ宇品に港を築いたのでしょうか？

1880（明治13）年，広島県県令に着任するために，初めて広島を訪れた千田は，船の上から見つめた広島湾の印象を「河口海面一大砂漠ノ有様」と記しています。太田川が運んでくる土砂が広島湾内に大量に積もり，そのため，汽船は岸まで近付くことができず，しかも，沖合の宇品島（現在の元宇品，かつては島でした）で乗り換えた小舟も，満潮にならなければ出発できないといった状況でした。



千田貞暁
（広島市公文書館提供）

当時は，明治政府によって，産業の近代化や活性化を図る殖産興業が積極的に推進された時代でした。製糸場や造船所などの官営工場が各地に建設され，人や物資を運ぶための鉄道が整備され始めようとしていました。

千田は，着任後県内を見て回り，広島の産業が振るわないのは，原料や燃料，そして，生産された物資を円滑に輸送できないことに原因があると考えました。そして，広島の産業を発展させるためには，まず物資の輸送が円滑に行われることが必要であると考え，宇品への新しい港の建設と，

港に続く道路の改修を行うことを決意したのです。

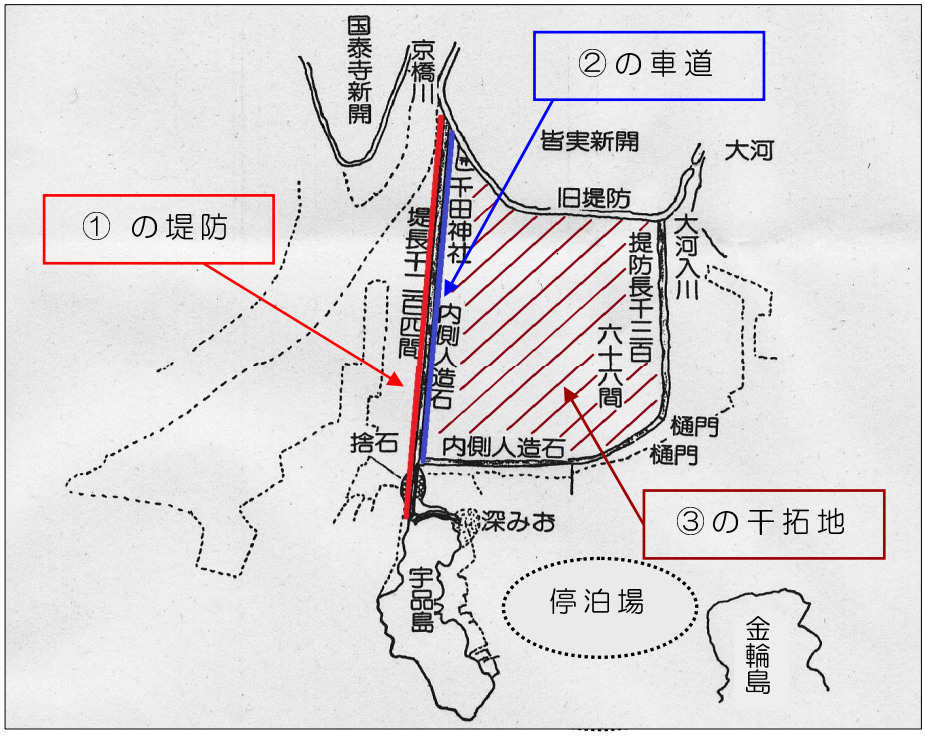
3　宇品港はどのように築かれたのでしょうか？

千田からの要請を受けて，政府から派遣されたフランス人の土木技師ムルデルは，実地調査を進め，次のような宇品港建設の計画をまとめました。

① 京橋川東側の皆実新開と宇品島の間に約 2.2 km の堤防を築く。この堤防によって，河川から流れ出る土砂が宇品沖に積もるのを防ぎ，宇品島と金輪島の間を，大きな船の停泊場とする。

② 宇品島から堤防に沿って，広島市街に通ずる車道を造り，市街と海の交通を開く。

③ 皆実新開と宇品島の間に，約 230ha の広大な干拓地[2]を築く。



宇品港計画図（「広島湾発達史」をもとに作成）
※点線は 1982（昭和 57）年当時の海岸線

宇品港建設は，堤防を築く，道路を建設する，干拓地を造成する，という三つの工事を合わせた大規模なものでした。

しかし，いよいよ工事が始まる時になって，主に漁業をして暮らしていた周辺地域の住民の間で，激しい反対運動が起きました。それは，海が干拓地になることで漁業ができなくなったり，排水が困難になって植物の生育に影響が出たりすることへの反対の声だったのです。

これに対して千田は，住民の代表に説得を重ね，建設に関わる仕事に地元の住民を雇うことを約束して，ようやく反対運動はおさまりました。

1884（明治17）年，工事が始まりましたが，悪天候により堤防が壊れた上に，人件費，材料費の値上がりなど，建設工事は次々と困難に見舞われます。そのため千田は，国に何度も資金の援助を求めました。

完成した宇品港桟橋（広島市公文書館提供）

こうして，1889（明治22）年，当初の予算の三倍を超える30万円[3]を費やして，宇品港建設の大事業は完成しました。翌年の春，関係者を集めて宇品港の盛大な落成式が行われましたが，工事最大の功労者であった千田の姿はそこにはありませんでした。千田は，工事が遅れたことを理由に処分を受けて，新潟県へ転任するよう命じられ，完成したばかりの宇品港から船に乗り，10年間過ごした広島を後にしていたのでした。

4　完成した宇品港は，後の広島にどのような影響を与えたのでしょうか？

長い年月と多額の費用を費やした宇品港建設でしたが，開港当初は，その価値が十分には認められず，この事業を「一大失策」とする意見も多かったといいます。しかし，開港から５年後の1894（明治27）年に，山陽鉄道（現在のJR山陽本線）が広島駅まで開通し，さらに，同じ年に始まった日清戦争のための軍事専用鉄道として，広島駅から宇品港までの宇品線が開通します。このため，宇品港は，兵隊や軍事物資の輸送など，軍事輸送基地として重要な役割を果たすことになります。宇品港は，日本全体にとっても重要な港となるのです。

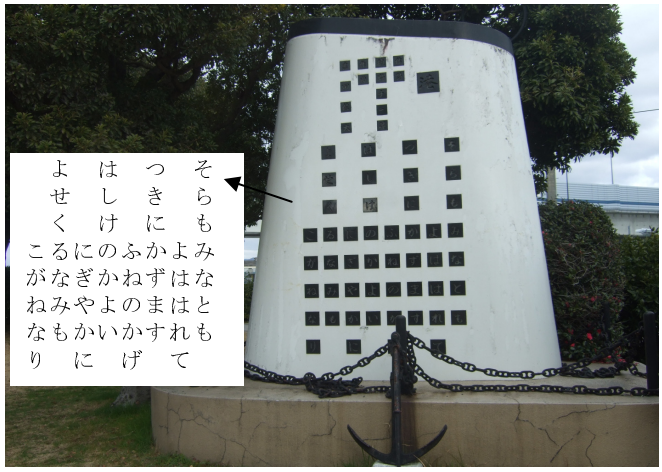
さらに，1897（明治 30）年には台湾への定期航路，1905（明治 38）年には清国との定期航路が開かれるなど，宇品港は大小の船が立ち寄ってにぎわいを見せるようになり，宇品港の建設は，その後の広島の産業の発展の基礎となりました。

次の歌詞は，宇品港の開港から７年後の 1896（明治29）年に発表され，宇品港がモデルとされている「港」という歌の一節です。この曲は，後に小学唱歌として音楽の教科書に掲載され，全国の小学生に親しまれました。宇品港が，日本を代表する港の一つであったことが分かります。

～港～

「空も港も夜ははれて
　　月に数ます船のかげ
　　端艇の通いにぎやかに
　　寄せくる波も黄金なり」

（作詞　旗野十一郎，作曲　吉田信太）



港　歌碑（宇品中央公園）

千田貞暁が宇品に新しい港を築くことを決意した理由や，宇品港がその後の広島に与えた影響について，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】
(1) 1871（明治４）年の廃藩置県により，政府が任命した県の長官。1886（明治19）年からは県知事と改称された。
(2) 遠浅の海や水深の浅い湖沼を仕切り，その場の水を抜き取ったり，干上がらせたりするなどして造成された陸地。
(3) 当時の米俵１俵（60kg）を政府が農家から買い入れる価格が２円であったといわれる。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○宇品港周辺に実際に行ってみよう！
　・５ページの地図の場所は現在はどのようになっているのでしょうか。
　・宇品周辺にある史跡や碑にはどのようなものがあるのでしょうか。
○現在の宇品港が果たしている役割を調べてみよう！
○身近な地域の明治維新に関係する出来事を調べてみよう！
　・道路の拡張工事（可部～浜田，可部～松江，尾道・三次～松江など）
　・港の浚渫（深く掘り下げること）（尾道）　・養蚕の技術伝習所（福山）
　・茶の技術伝習所（能美島）　・乳牛の飼育の奨励（県北）　など
○明治の教育や政治に関わった郷土の人物を調べてみよう！
　・窪田次郎（自由民権運動，医師）（福山市）
　・古川節蔵（教育，慶応義塾初代塾長）（北広島町）　など

◇広島市郷土資料館
　住所　広島市南区宇品御幸 2-6-20　TEL：082-253-6771　ＨＰ
　※宇品港建設の工事計画，人造石工法，港の様子や新しく開けた土地の発展の様子などが紹介されています。
◇千田廟公園
　住所　広島市南区宇品御幸 1-8
　※大正時代に建てられた，千田貞暁をまつる千田神社をはじめ，貞暁の銅像などが敷地内にあります。

【もっと知りたい！郷土の歴史】

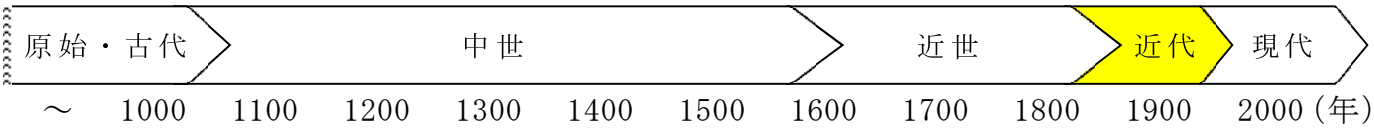
その後の宇品と広島

宇品港建設の様子をはじめ，広島の人々の暮らしに関わる歴史をテーマにした「広島市郷土資料館」は，赤レンガの建築物として有名です。この建物は，もともと「宇品陸軍糧秣支廠缶詰工場」として建てられました。これは，広島が陸軍の拠点都市として発展していく中で，兵士の食料や軍馬のエサを調達・製造し，軍に補給するために建設された工場で，牛肉の缶詰が製造されていました。また，宇品地区や，広島市内の周辺地域には，その後も，陸軍兵器支廠，陸軍被服支廠，陸軍運輸本部，陸軍船舶指令本部など，軍の工場や施設が設置され，太平洋戦争中には，不足した労働力を補うために，男女中学生をはじめ，多くの学生たちがこれらの工場で働いていました。

宇品港建設から山陽鉄道と宇品線の開通，日清・日露戦争を経て，太平洋戦争に至るまで，宇品の町は，その規模も様子も大きく変化していきました。

広島市郷土資料館

2　富国強兵とひろしま～軍港 呉～



1　呉港とはどのような港でしょうか？

呉は，現在，造船の盛んな地として知られ，呉港周辺には造船関連の会社が多くあります。また，呉には海上自衛隊呉地方隊が置かれ，港内では護衛艦や潜水艦などを見ることもできます。さらに，呉港は広島港や松山港（愛媛県），江田島市の各港を結ぶ港としても大切な役割を果たしています。

現在の呉港の様子

呉は，明治の初めまでは静かな漁村でしたが，1886（明治 19）年，海軍鎮守府[1]を呉港に置くことが決定されたことから，軍港としての発展が始まり，呉のまちは大きく変化します。

呉で建造された船の中で，最も有名なのが戦艦「大和」です。当時，世界最大といわれた「大和」は，1937（昭和 12）年，海軍の威信をかけて，当時の最先端の技術が惜しみなく投入され完成しました。

戦艦「大和」
（大和ミュージアム提供）

なぜ，呉港は海軍の港となったのでしょうか？また，呉港は軍港としてどのような役割を担い，後の呉にどのような影響を与えたのでしょうか？

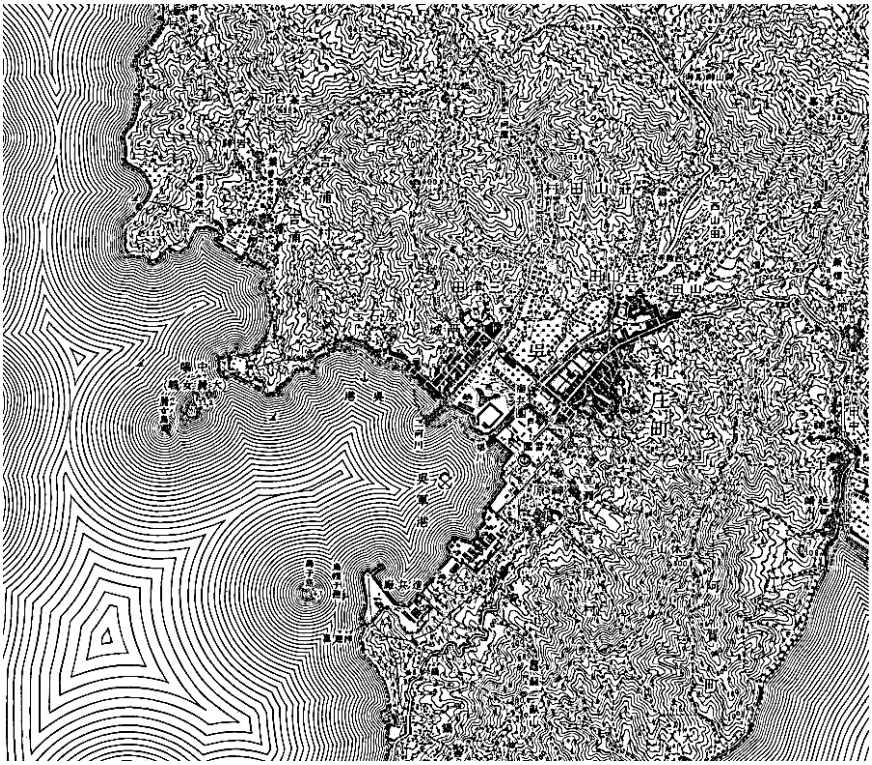
2　なぜ，呉港は海軍の軍港となったのでしょうか？

明治政府は，「富国強兵」をスローガンに，欧米諸国に対抗するため，産業や軍備の近代化を進めました。1886（明治 19）年には，海軍条例が公布され，全国を五つの海軍区に分け，それぞれに鎮守府が設置されることになりました。その中の第二海軍区の鎮守府を呉に設置することが決定されたのです。

なぜ，呉に鎮守府が設置されたのでしょうか。鎮守府の候補地を調査した海軍の肝付兼行少佐は，呉が，湾の周囲を山と島に囲まれ，背後に丘陵を持ち，

敵の攻撃を防ぐ上で絶好の地であるということ，呉湾周辺は大型船にちょうど良い水面の広さや海の深さがあるということから，鎮守府設置には「此呉湾ヲ除キテ他ニナシ」と報告しています。

こうして呉港は海軍の鎮守府が置かれた軍港となったのです。1889（明治 22）年，膨大な国家予算をかけて呉鎮守府は開庁し，その後も巨額の資金の投入により，造船や兵器製造の施設が拡充され，呉港一帯は大きな変革を遂げることになりました。



1899（明治 32）年当時の呉市の地図
（大日本帝國陸地測量図作成　五万分一地形図「呉」図幅）

3　呉港はどのような役割を担ったのでしょうか？

1903（明治 36）年，鎮守府内に設置されていた造船部門と兵器製造部門が統合され，呉海軍工廠（海軍直営の兵器製造工場）となりました。当時の呉海軍工廠は，造船部，造兵部，製鋼部，造機部，会計部などからなり，約 1 万 3000 人の工員がいました。その後，日露戦争後の 1907（明治 40）年には職工が約 2 万 4000 人になり，東洋一の大工場に成長しました。造船所，兵器製造所，製鋼所などを同じ場所に置くことにより，短期間で次々と世界的に優秀な艦艇を建造することができるようになり，日本一の軍港として発展していくのです。

1921（大正 10）年には，当時の賀茂郡広村（現在は呉市）に呉海軍工廠広支廠が設置され，1923（大正 12）年には

年	呉のおもなできごと	日本のおもなできごと
1886（明治 19）	第二海軍区鎮守府の位置を呉港に設定	
1889（明治 22）	呉鎮守府開庁	大日本帝国憲法発布
1894（明治 27）		日清戦争
1895（明治 28）	仮設呉兵器製造所設立	
1896（明治 29）	船渠（ドッグ）工場開設	
1901（明治 34）		八幡製鉄所操業開始
1903（明治 36）	造船部門・兵器製造部門を呉海軍工廠に統一	
1904（明治 37）	製鋼部門を増設	日露戦争
1914（大正 3）		第一次世界大戦参戦
1921（大正 10）	呉海軍工廠広支廠開庁	
1937（昭和 12）		日中戦争
1940（昭和 15）	戦艦「大和」進水式	
1941（昭和 16）		太平洋戦争
1945（昭和 20）	呉空襲 呉海軍工廠廃止	終戦

軍港としての呉港の年表

広海軍工廠となり，航空機の製造や修理を行うようになりました。

こうして，呉港の一帯は海軍施設が集中し，戦艦や航空機の製造に必要な技術が発展し，製造に必要な工具などを作る技術も併せて発展しました。呉港では，当時の最先端の技術とそれを扱う職人が集まり，太平洋戦争終結までに，戦艦「長門」や航空母艦「赤城」，世界最大の戦艦として知られる「大和」などが造り出され，終戦までの約 60 年間大いに発展しました。

4　呉港が軍港となったことで，呉のまちはどのように変わったのでしょうか？

呉港が軍港となり，巨大軍需工場が立地したことにより，呉のまちは大きく変化しました。

呉鎮守府開庁前の 1887（明治 20）年に約１万 5000 人であった人口は，呉が市となった 1902（明治 35）年には６万人，1910（明治 43）年には 10 万人を超えています。その後も人口は増え続け，1931（昭和６）年には，20 万人，1941（昭和 16）年には，30 万人を超えています。また，第二次世界大戦中の 1943（昭和 18）年には呉市の人口は 40 万人を超えていました。

年	人口（人）
1887（明治 20）年	15,158
1902（明治 35）年	60,124
1910（明治 43）年	102,264
1916（大正 ５）年	135,351
1921（大正 10）年	142,111
1926（昭和 元）年	146,800
1931（昭和 ６）年	210,472
1935（昭和 10）年	231,333
1941（昭和 16）年	300,077
1943（昭和 18）年	404,257
1945（昭和 20）年	152,184

呉市の人口の推移
（呉市統計書）

呉市両城には，今も急傾斜の斜面に，10m程もある石垣を積み上げて雛壇状にした宅地があります。呉は，背後を山に囲まれたすり鉢状の地形であるため，新たに移住してきた軍関係者や工廠の職工等の住宅は，平地ではなく周囲の急傾斜地を利用して建てられました。

今はもう廃止になっていますが，1909（明治 42）年，広島県内初の市内電車も呉に開通しました。中心市街地には喫茶店や映画館，洋装店などが立ち並び，特に艦船が入港した時には大変にぎわいました。

しかし，1945（昭和 20）年，呉空襲によって，中心市街地は大きな被害を受け，そして日本の敗戦により広大な旧軍用地や市街地の多くを進駐軍[2]に取り上げられたため，呉の人口は約15万2000人にまで激減しました。

呉市両城の住宅の様子

5　軍港となったことは，その後の呉にどのような影響を与えたのでしょうか？

現在の呉の造船所の様子

終戦とともに，軍港としての役割を終えた呉ですが，1950（昭和 25）年に，平和産業港湾都市への転換を目指す「旧軍港市転換法」[3]が制定され，呉にあった海軍の土地や建物を民間で利用できるようになりました。旧海軍施設への積極的な企業誘致（ゆうち）が行われ，造船，鉄鋼などの企業が相次いで進出しました。

戦時中，呉にあった日本の最先端の設備や技術はこうして民間に引き継がれ，鉄鋼業や造船業はその後の呉市の基幹産業として発展します。戦後わずか 7 年後の 1952（昭和 27）年には，「大和」を生んだドッグで，当時世界最大級のタンカーである「ペトロ・クレ」（38,000 重量トン）が進水しました。その後も次々世界最大級のタンカーが建造され，呉は「造船王国」と言われた日本を支えることになるのです。

旧海軍の施設や技術が引き継がれたのは，造船業や鉄鋼業だけではありませんでした。戦後，呉では紙パルプやタービン，ジェットエンジン用部品など数多くの製品が造り出されました。また，地場産業である酒造業，やすりの製造なども着実に業績をあげるようになりました。

1951（昭和 26）年，呉港は海上輸送網（もう）の拠点となる重要港湾（こうわん）として国の指定を受け，翌 1952（昭和 27）年には，呉市が港湾管理者となり，港の運営体制が確立され諸施設の復旧整備が進み，呉港は貿易港として生まれ変わりました。

今日の呉港は，鉄鋼，造船，機械などの工場群を背景として金属機械工業品を取り扱う港として，また，海上交通の要地として重要な役割を果たしています。

呉港が軍港となった理由やそのことによる変化，後の呉への影響について，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】
(1) 日本の海岸と近海の防衛を目的として設置された旧帝国海軍の官庁。
(2) 第二次世界大戦後，日本を占領した連合国の軍隊。
(3) 旧軍港市（横須賀市，呉市，佐世保市及び舞鶴市）を平和産業港湾都市に転換することにより，平和日本実現の理想達成に寄与することを目的として制定された法律。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○呉市（港）や大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）に出かけて調べてみよう！
・港の周りの海や山の位置，呉の地形，住宅のある場所などはどうなっているでしょうか。
・造船に必要な技術はどのようなものでしょうか。それは現在どう生かされているのでしょうか。
○呉市にあった市内電車のことを地域の人から聞きとってみよう！
○富国強兵政策と広島との関係についても調べてみよう！
・江田島海軍兵学校は，いつ頃できて，どのような役割を果たしたのでしょうか。
・なぜ，広島に紡績所が建設されたのでしょうか。

◇入船山記念館
住所：呉市幸町 4-6　TEL：0823-21-1037　ＨＰ
※郷土館，歴史民俗資料館等があり，呉の歴史をたどることができます。
◇大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）
住所：呉市宝町 5-20　TEL：0823-25-3017　ＨＰ
※明治以降を中心とした呉の歴史と造船，製鋼を始めとした各種の「科学技術」を，先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介しています。

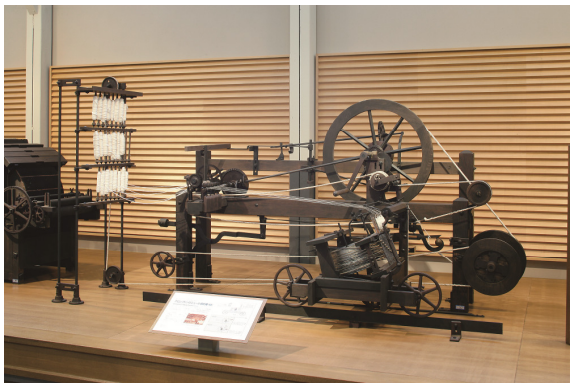
【もっと知りたい！郷土の歴史】

官営広島綿糸紡績会社

明治政府は，富国強兵政策を進めるため，産業の近代化に力を入れました（殖産興業）。開国以降，海外の安い綿織物が輸入されるようになり，国内の木綿産業を圧迫するようになりました。

そこで，明治政府は，木綿産業の振興を図るため，江戸時代から綿作と木綿産業が盛んであった広島と愛知に洋式紡績の模範工場を建設することを決定しました。紡績工場は輸入された綿花から木綿の糸を生産する工場です。その工場で使用されたイギリス製紡績機は水力を動力とするものであったため，広島の工場は瀬野川上流の上瀬野川村荒谷（現広島市安芸区上瀬野町）に建設されることになり，1882（明治 15）年に完成しました。

しかし，完成寸前に広島県県令の出願により，失業士族に職を与えるため，旧広島藩の下級士族で組織した広島綿糸紡績会社に払い下げられ，官立模範工場としての役割を果たすことはありませんでした。しかし，工場の建設は日本の紡績業の発展の先がけとなりました。

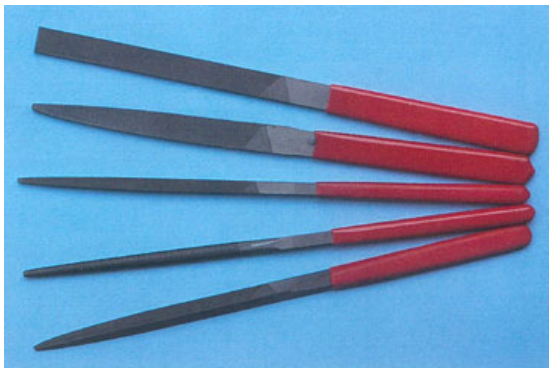


イギリス製ミュール紡績機
（トヨタテクノミュージアム産業技術記念館提供）

呉に集まる様々な産業（やすりと製砥業）

呉が軍港となったことで製鋼や造船そのものにかかわる技術とともに，鉄を磨いたりつないだりといった技術や，軍人や職人に必要な身の回り品を扱う工場や商店も呉に集まるようになります。

呉市仁方のやすりは，江戸時代の末期に仁方の一町民が，大阪から製法技術を習得し伝えたのが，起源と言われています。当時は，現在のような機械設備はなく経験と勘による手工業的生産方法によっていました。



仁方で生産されたやすり
（鈩協同組合広島県連合会提供）

1908（明治 41）年頃に目立機が考案され目立作業の開発がされたことにより，農業や鍛冶業と一緒に行われていたやすり生産が独立の産業となっていきました。

1917（大正６）年には，電力による動力化が行われ，その後，やすりの形状や大きさを設定できる圧延技術が導入されたことで，一日一人で 200 本の目立てができるほど生産量が飛躍的に伸びました。

仁方のやすりの生産をみると，1936（昭和 11）年から 1940（昭和 15）年にかけて著しく伸びています。工場数も明治末期から大正初期にかけては 10 程度であったものが，1936（昭和 11）年には 30 になり，生産額は全国の 50％を占めるほどになりました。これは，呉海軍工廠などの「指定工場」になったことが大きな要因でした。このことによって，戦艦や航空機などの製造に必要な鉄工やすりの需要が拡大し，やすりを製造する技術の発展にもつながるのです。やすりを扱う職人も全国から集められました。

現在，仁方では，戦前からの加工・製作機械の考案や技術革新により，高品質のやすりが大量にできるようになり，年間 1100 万本が生産され，全国の生産シェアの 95％を占めています。生産されたやすりは，全国の機械，金属，木工，美術工芸関連の事業所等で使用されています。

髪の毛の断面を 22 分割
（ディスコ（株）提供）

また，鉄鋼を切る・削るといった加工工程では研削用の砥石が使用されます。そこで，呉では製砥業も発展します。当時の金属を切る，削る，磨くといった技術は，現在のミクロン単位での研削切断装置の製造や半導体・電子部品などの精密加工装置の製造へと発展し，それは世界のトップレベルの技術となっています。

3　明治時代の民衆とひろしま　～海外への移民(いみん)～

原始・古代 ＞ 中世 ＞ 近世 ＞ 近代 ＞ 現代

～　1000　1100　1200　1300　1400　1500　1600　1700　1800　1900　2000（年）

1　移民とはどのようなことでしょうか？

移民とは，労働を目的として外国に移り住むことを言います。

広島県は全国でも移民数の多い県として知られています。1882(明治 15)年から始まった北海道への開拓移住においても広島県からは多くの移住者が出ています。しかし，1885（明治 18）年以降は人数が減少していきます。これには，同年から始まったハワイ王国への官約(かんやく)移民に深い関係があると考えられます。

官約移民とは，日本とハワイとの協約に基づき，３年契約でハワイのサトウキビや砂糖(さとう)の生産のための労働者として送り出された移民のことです。この制度のもと 1894(明治 27)年６月まで 26 回にわたり，日本政府主導で全国から約３万人が送り出されました。県別にみると，広島県が約１万人で最も多く，全体の 38.2%を占(し)めていました。

官約移民の制度廃止後は，政府の許可を受けた移民会社のあっせんによることになりましたが，ハワイがアメリカに併合(へいごう)されたのを機に，1900(明治 33)年に契約移民が禁止され，移民の主流がアメリカ本土へと移ります。明治時代末にはアメリカが移民を制限したため，主な移民先がブラジルなどへと変わっていきました。

年	人数（人）	府県順位
1882	330	3
1883	501	1
1884	637	2
1885	455	9
1886	360	10
1887	81	17
1888	83	20
1889	52	26
1890	125	18

広島県民の北海道移住者数
（『広島県移住史』）

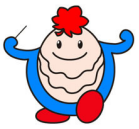
県　名	官約移民(人)
広島県	11,122
山口県	10,424
熊本県	4,247
福岡県	2,180
その他	1,111
全国　計	29,084

県別官約移民人数
（『日系移民，海外移住，異文化交流の今昔』）

（単位　人）

地域＼年代	1868～1890	1891～1910	1911～1930	1931～1945	計
※北アメリカ	21,351	230,776	153,673	5,609	411,409
中南アメリカ	—	20,389	126,103	97,680	244,172
計	21,351	251,165	279,776	103,289	655,581

第二次世界大戦以前の地域別・年代別移住者数　※ハワイを含む
（『日系移民，海外移住，異文化交流の今昔』）



なぜ，当時の人々は移民を希望したのでしょうか？また，なぜ，広島県からの移民が多いのでしょうか？

2　なぜ，当時の人々は移民を希望したのでしょうか？

官約移民は，農業に従事する出稼ぎ労働者で，永住を目的とするものではありませんでした。

		給　金（円）		食　費（円）		備　考
		男（夫）	女（妻）	男（夫）	女（妻）	
官約移民	第１回	108.00	72.00	72.00	48.00	船賃雇主持・薪無料
	第４回	180.00	120.00			船賃は 25 か月払い
農業年雇	1884 年	14.48	7.40	雇主持	雇主持	
	1885 年	9.98	4.98			

官約移民と農業年雇の年収比較　（『広島県移住史』）

政府が作成した「出稼人趣意書」では，病気をせずに勤勉に労働すれば３年間に 400 円の貯蓄が可能だと述べています。官約移民募集に応募者が多数集まったのは，このような政府の宣伝と高額な労働賃金にありました。さらに，船でハワイに渡る費用なども前借りできたこと，日本が深刻な不況の中にあったことも理由としてあげられます。第１回の募集人員 600 人に対し全国で２万 8000 人の応募があり，944 人（うち広島県人 222 人）が移民船で渡りました。

移民した人たちは，稼いだお金を郷里に送ったり，帰国の際に持ち帰ったりしました。1891(明治 24)年末の広島県の調査では，ハワイ在住の広島県移民が合計 27 万円を送金しています。これは同じ年の県予算額の約 54%に当たる額でした。送金や持ち帰り金は年々増加し，明治 30 年代後半には県の歳入総額を超える額に達していました。そうしたお金は，郷里で待つ家族にとってはもちろん，県や国の経済にとっても重要な意味をもっていたのです。

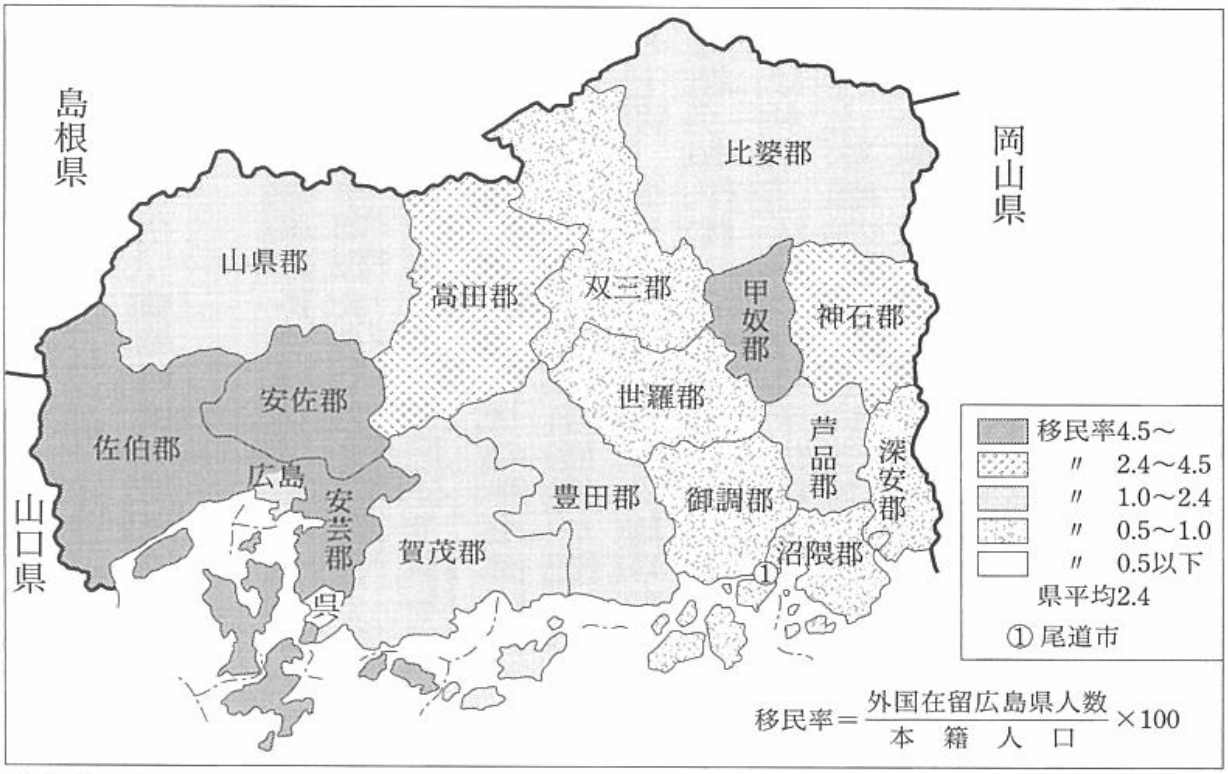
1898(明治 31)年にハワイはアメリカに併合され，契約労働は廃止されます。しかし，その後も日本からの移民は増加し，一時は日本人がハワイの人口の約 40%を占めていました。やがて，ホノルルの都市や商店の経営，コーヒーやパイナップル栽培で成功する人々も現れました。

ただ，移民の中には，気候，風土，飲食，労働習慣などの急激な変化によって，健康を害する人もたくさんおり，ハワイでの生活に慣れるのに大変な苦労があったようです。

サトウキビ農園の労働者
（末友明氏所蔵　広島市文化振興課提供）

3　なぜ，広島県からの移民が多いのでしょうか？

現地では，さとうきび畑での刈取りなどの作業や製糖工場での作業などを行いました。監督官のもとで，炎天下での作業や長時間労働は想像以上に大変な



広島県郡市別の出移民率（明治40年）『広島県の歴史』（作成：兒玉正昭）

ものでした。そのような苛酷（かこく）な労働条件の中で，広島県・山口県の初期の出稼ぎ人は，雇（やと）い主に「真面目（まじめ）によく働く」と良い評価を受け，両県出身者を指定する雇い主もいました。

広島県の官約移民は，広島湾を中心に，県西部の沿岸地域の町村と太田川流域の平野部の町村に多い一方，山間部や島しょ部の町村には少ないなど地域的にかたよりがあります。移民の多いところは，経済的に見ると，次のような地域でした。

1　人口が多く農民一人あたりの耕作面積が少ない地域

2　綿花，い草，藍（あい）など商品作物の普及した地域
（特に多くの労働力が必要だった綿作地域は，外国綿花の輸入増大により栽培面積が激減し，多数の失業者が生まれた）

3　干害（かんがい）や暴風雨などの自然災害により大きな打撃を受け生活に苦しむ者が増えた地域

4　江戸時代以来の出稼ぎの風潮（ふうちょう）があった地域

また，1884（明治17）年から始まった宇品港の建設工事で漁場を失った人々も多数ハワイに渡ったと言われています。

移民が送り出される要因は，送出国と受入国の経済的・社会的事情と，両国の外交政策に大きく左右されますが，初期の移民は，経済的事情が大きな意味をもっていました。

移民者のトランク
（広島市文化振興課提供）

海外への移民について調べたことをもとに，移民に出かけた理由や広島県からの移民が多い理由について，調べたことや考えたことをもとに，自分の言葉でまとめてみましょう！

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○現在の広島とハワイや他の移民先の交流の状況について調べてみよう！
○ハワイ以外の国や地域への移民の歴史についても調べてみよう！
　・いつ頃から始まり，どれくらいの人が移住したのでしょうか。
　・移民先でどのような生活を送っていたのでしょうか。
　・それらの地域と現在の日本や広島とのつながりはどうなっているでしょうか。
○北海道開拓と広島県民のかかわりについて調べてみよう！

◇広島県立図書館
　住所：広島市中区千田町三丁目 7-47　広島県情報プラザ内
　　TEL：082-241-4995　ＨＰ
◇広島日米協会
　住所：広島市中区土橋町 7-1　中国新聞社内　TEL：082-232-7115　ＨＰ
◇生活資料館・ハワイ移民資料館・仁保島村
　住所：広島市南区仁保三丁目 17-6　TEL：082-286-6331　ＨＰ
◇広島市デジタル移民博物館　ＨＰ

【もっと知りたい！郷土の歴史】

ホレホレ節

さとうきび畑での刈取り作業は，炎天下の中で長時間に及び，想像以上に厳しいものでした。厳しい労働のなかで，歌うことによって気を紛(まぎ)らわせ，お互いを励ますために，日本人移住者たちの中から自然に生まれた労働歌が「ホレホレ節」です。「ホレホレ」とは，サトウキビの枯葉(かれは)を手で掻(か)き落としていく作業を指すハワイ語で，ホレホレ節はこの作業を主に担っていた女性が歌ったようです。歌われた内容は，ハワイでの厳しい生活や将来についての不安，ふるさとを懐(なつ)かしむ思いなどでした。ホレホレ節には 60 種類以上の歌詞があり，広島湾での海苔(のり)とり歌や県中央部の籾摺(もみす)り歌などが，元歌ではないかと言われています。今に残るこのホレホレ節には，日本を離れハワイに渡った人たちが，お互いに励ましあいながら作業をする様子が伝わってきます。

ホレホレ節

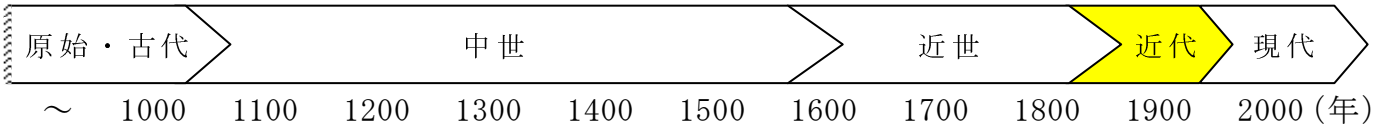
今日のホレホレ
つらくはないよ
きのう届いた
里だより

故郷を出るときゃ
一人で来たが
今じゃ子もある
孫もある

ハワイハワイと
夢みてきたが
流す涙は
きびの中

行こうかメリケン
帰ろか日本
ここが思案の
ハワイ国

4　第一次世界大戦とひろしま　～加藤友三郎～



1　加藤友三郎とはどのような人物でしょうか？

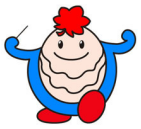
加藤友三郎（1861～1923）は，広島県出身の最初の内閣総理大臣です。

加藤は，1861（文久元）年，現在の広島市中区大手町に生まれ，幼年期には，広島藩の藩校修道館（現在の修道学園）で学び，その後，海軍兵学校に入学しました。日清戦争では，黄海海戦に参加して戦功をあげ，日露戦争では，連合艦隊の参謀長として戦艦「三笠」に乗り込み，ロシアのバルチック艦隊を破り，日本の勝利を決定付けました。

その後，海軍の様々な役職に就き，大隈重信，寺内正毅，原敬，高橋是清と四名の総理大臣のもとでは海軍大臣を務めました。そして，第一次世界大戦を経た1922（大正11）年，第21代の内閣総理大臣になるのです。

加藤友三郎
（加藤友三郎顕彰会提供）

当時，日本は戦争に次々と勝利し，軍備を拡張する中にあって，加藤は海軍大臣，内閣総理大臣を歴任しながら，日本の軍備縮小に力を尽くしたのです。



加藤友三郎は，日本が次々と戦争に勝利し，軍備拡張の声が高まる中，なぜ，軍備縮小に力を尽くしたのでしょうか？

2　加藤友三郎は，海軍大臣としてどのように軍備縮小を進めたのでしょうか？

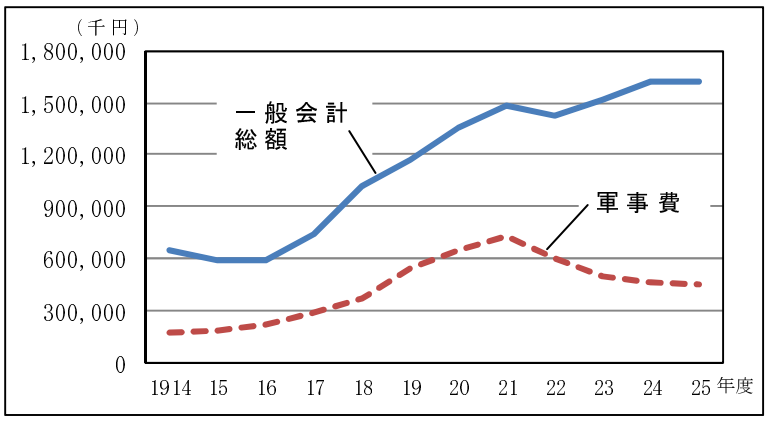
1915（大正４）年，第一次世界大戦の最中に，加藤は大隈重信内閣の海軍大臣に就任しました。1917（大正６）年，大戦は連合国の勝利で終了しますが，人類最初の世界戦争によって多くの死傷者が出ました。この反省から，世界では国際平和を求める声が高まります。

しかし，その一方で第一次世界大戦が終わった後，次なる戦争を想定し各国では軍備増強の動きが起こっていました。日本も周辺防備のため，

年	おもなできごと
1861	広島市大手町で生まれる
1865	藩校「修道館」などで学ぶ
1873	海軍兵学校に入学する
1894	日清戦争において，黄海海戦・旅順港海戦に参戦する
1904	日露戦争において，日本海海戦に連合艦隊参謀長として参戦する
1914	第一次世界大戦において，ドイツとの戦いに参戦する
1915	大隈内閣の海軍大臣に就任する
1918	寺内，原内閣の海軍大臣に就任する
1921	ワシントン会議に首席全権委員として参加する
1922	内閣総理大臣兼海軍大臣に就任する
1923	現職のまま63歳で亡くなる

加藤友三郎の年表

大幅な軍備の再編を進めました。その結果，軍事費は次第に増え，1921（大正 10）年度は軍事費が国家予算の 50％近くを占めるという異常な状態になりました。欧米諸国も同様に軍備増強による財政負担が問題となっており，国際世論も軍備の縮小を求めていました。



国家予算（一般会計総額）と軍事費の推移
（『大蔵省百年史』）

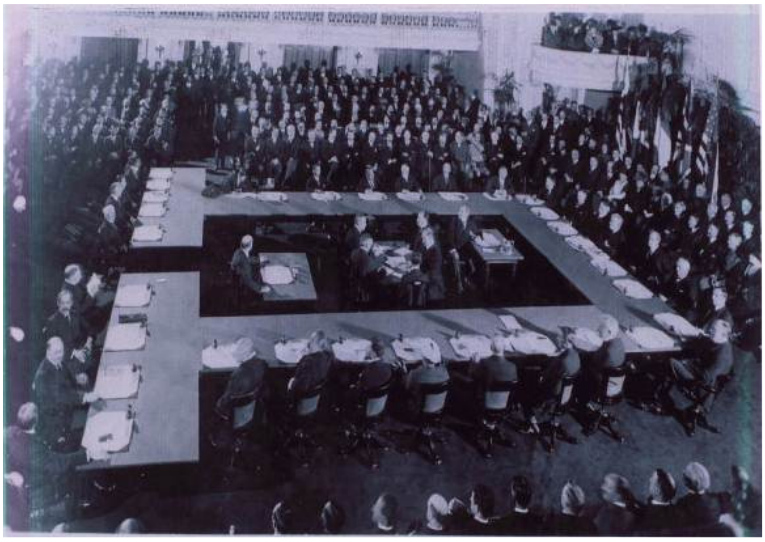
このような状況のもとで，1921（大正 10）年から翌年にかけて，アメリカのワシントンで，海軍の軍備の制限などを話し合う会議（ワシントン会議）が開催されました。加藤はこの会議に首席全権委員として出席します。

この会議の冒頭，アメリカから「今後 10 年は主力艦の建造を行わないこと」「10 年後までにアメリカ・イギリス・日本の保有する主力艦の比率を 10：10：6 とすること（日本の保有する主力艦を，アメリカ・イギリスの 6 割にすること）」等の提案がありました。これに対して，日本国内，特に海軍内部では，7 割論が強く主張され，この会議に参加していた者の中にも「この提案は，絶対に受け入れられない。」という強硬に反対する者もいました。

しかし，加藤は次のように考えていました。

○ 日本の財政規模から考えたとき，軍備拡張路線を進むべきではないこと
○ 日本の歩むべき道は，アメリカ・イギリスとの対立ではなく協調の中にあること
○ 国防を軍事力だけで捉えるのではなく，広く国家財政，産業，貿易，外交の面から捉える（国力の豊かさで考える）ことが大切であること

加藤は，「国防は軍人の専有物ではない。国家の繁栄があってこそ可能なのだ。」と言って，海軍内部の強い反対を抑えて会議での提案を受け入れ，「ワシントン海軍軍縮条約」に調印しました。加藤は海軍大臣という海軍の最高司令官という立場であっても，海軍のことだけを考えるのではなく，国際情勢と国益を第一に考え，内部の反対を抑えて軍縮を決断したのです。


ワシントン会議（加藤友三郎顕彰会提供）

3　加藤友三郎は，内閣総理大臣としてどのように軍縮を進めたのでしょうか？

ワシントン会議を成功させた加藤は，1922（大正 11）年，第 21 代内閣総理

大臣に就任しました。加藤は海軍軍縮条約を実行し，加藤が亡くなった後も含め，1922年～1925年ごろには，戦艦の建造中止や廃棄が行われました。当時，日本が所有していた戦艦のうち，14隻は廃棄され，建造途中の戦艦6隻は建造中止や他の用途への転換となりました。右の写真は，建造途中であった戦艦「土佐」が1925（大正14）年，高知県沖で意図的に海に沈められている写真です。

戦艦「土佐」が沈められている様子
（大和ミュージアム提供）

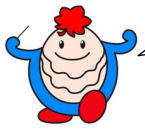
また，加藤は，内外からの批判が強く，財政上も大きな負担となっていたシベリア出兵（ロシア革命に干渉するための出兵）引き揚げを行いました。さらに，海軍のみならず，陸軍の削減も行い，こうして削減された軍事費は教育・文化や国民生活の充実に向けられることになりました。

しかし，内閣総理大臣就任から1年2か月で病に倒れ，1923（大正12）年現職のまま亡くなってしまいました。加藤の死後，海軍の中では軍備拡張の考えが主流となっていきました。

1935（昭和10）年，広島市の比治山に加藤の功績を称え銅像が建立されたのですが，その銅像は，太平洋戦争中の金属回収令によって撤去され，長く石の台座を残すのみとなっていました。

そして，加藤の死から85年たった2008（平成20）年，国際協調による世界平和を実現した加藤を称え，ワシントン会議に参加した時のいでたちの銅像が，再び地元の人たちの活動によって，広島市中区の中央公園の一角に建てられました。

加藤友三郎の銅像
（広島市中区中央公園）



加藤友三郎が軍備縮小に力を尽くした理由について，調べたことや考えたことをもとに，自分の言葉でまとめてみましょう！

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○加藤友三郎の業績をもっと詳しく調べてみよう！
- なぜ，加藤がワシントン会議に派遣されたのでしょうか。
- 内閣総理大臣として，軍縮以外にどのような政策を進めたのでしょうか。
- 第一次世界大戦の頃の日本の歴史を加藤の経歴と関連付けて考えてみよう。

○大正時代に活躍した郷土の人物を調べてみよう！
- 鈴木三重吉（児童文学者）（広島市）
- 織田幹雄（オリンピックで，日本人初の金メダルを獲得）（海田町）
- 大妻コタカ（大妻女子大学創立者）（世羅町）

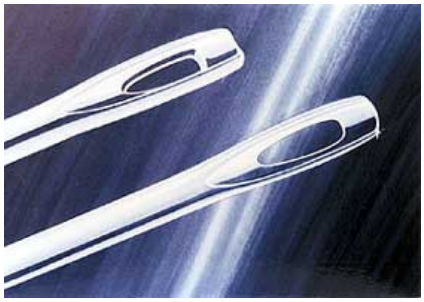
◇ＮＰＯ法人 加藤友三郎顕彰会　ＨＰ
　住所　広島市東区温品六丁目 23-14　TEL：082-289-1082
◇広島市中区中央公園　　※加藤友三郎の銅像（功績碑）があります。
◇海田町ふるさと館　　※織田幹雄の記念品等が展示されています。
　住所　安芸郡海田町畝二丁目 10-20　TEL：082-823-8396
◇世羅町立甲山図書館　　※大妻コタカの伝記等の書籍があります。
　住所　世羅郡世羅町西上原 123-3　TEL：0847-22-4515

【もっと知りたい！郷土の歴史】

第一次世界大戦と広島の産業

第一次世界大戦によって，広島の産業は大きく発展することになりました。

広島では，江戸時代に下級武士の内職として，縫(ぬ)い針の生産が行われていました。これは，太田川上流で行われていた，砂鉄を製鉄する「たたら製鉄」でできた鉄を加工したもので，明治初期までは全て手作業で行われていました。その後，次第に機械化が進んでいきますが，大きな転機となったのが第一次世界大戦の始まりでした。戦争によりドイツやイギリスなどの主要な針生産国の輸出が激減したため，中国をはじめとする海外からの注文が大量に日本にやってくるようになったのです。針は，東京，京都，大阪などでも生産されていましたが，広島は機械化を進め，相次ぐ増産を行い「東洋一の製針地」と呼ばれるほどになったのです。


（萬国製針（株）提供）

（チューリップ（株）提供）

昭和初期には広島の針の生産高は日本の８～９割を占めるほどになりました。その技術と伝統は現在に引き継がれ，現在も広島の針は国内生産の９割を占めています。

また，針が船で東アジアへ輸出されるようになると，輸出に際し，広島から針を積み込んだ船の復路が空荷になるのを避けるため，現地で採れる生ゴムを輸入品として持ち帰るようになりました。その結果，広島ではゴム産業も盛んになり，軍隊用のカッパや長靴(ながぐつ)などが作られるようになります。このゴム産業が盛んになったのも，ゴムを縫製(ほうせい)するのに適した針が広島にあったからだと言われています。

第二次世界大戦後は，そのゴムを縫製する技術が生かされ，バレーボールやハンドボールなどで使われるボールや自動車のゴム部品などが作られるようになりました。現在，広島で作られたボールは国際大会の多くで使用されています。

（ミカサ（株）提供）

（モルテン（株）提供）

鈴木三重吉と「赤い鳥」

『鈴木三重吉賞』という賞を知っていますか。子供達の優秀な作文や詩に贈られる賞です。

鈴木三重吉（1882～1936）は，加藤友三郎と同じ時代に活躍した郷土広島出身の人物です。鈴木三重吉は 1882（明治 15）年，広島市猿楽町（現在の中区紙屋町）に生まれ，本川小学校，広島尋常中学校（現広島県立広島国泰寺高等学校），第三高等学校から，東京帝国大学英文学科に入学します。大学では夏目漱石の講義を受け，卒業後多くの小説を執筆しました。自分の娘のために童話集を創作したことをきっかけに，児童文学作品を創作するようになり，1918（大正７）年，児童文芸誌『赤い鳥』を創刊しました。『赤い鳥』では，自ら作品を執筆しながら，主宰として手腕を発揮し，童謡・童話を中心に多くの名作を世に送り出しました。鈴木三重吉は「赤い鳥」の発行を通して，文学的に価値の高い読み物に触れる機会を児童に与え，児童文学の基礎を作り上げたのでした。

鈴木の 13 回忌にあたる 1948 年（昭和 23）年，「鈴木三重吉賞」が創設され，毎年全国の子供達から多数の作文や詩が応募されています。

雑誌『赤い鳥』表紙
（広島市立中央図書館提供）

鈴木三重吉
（鈴木三重吉赤い鳥の会提供）

鈴木三重吉文学碑
（広島市中区大手町）

右側の台座には，鈴木三重吉自筆の次の一文が刻まれています。

私は永久に夢を持つ
ただ年少時のごとく
ために悩むこと浅きのみ
三重吉

左側の台座には，雑誌「赤い鳥」の表紙の字型をそのまま取って刻まれています。

大妻（おおつま）コタカ

大妻コタカ（1884～1970）は，明治から昭和を生きた教育者です。

大妻は，1884（明治 17）年，世羅郡甲山町（現世羅町）に生まれ，世羅郡教育会裁縫講習所を卒業後，広島県の裁縫教員検定試験に合格し，郡内の小学校に勤務しました。1901（明治 34）年に上京して，和洋裁縫（さいほう）女学校（現和洋女子大学）に入学し洋裁を学びました。さらに，東京都の教員養成所や神奈川県の女子師範学校などに学び，卒業後，東京都・神奈川県で教員となりました。その後結婚し 1908（明治 41）年には，縫製・手芸の家塾を設立しました。当初は，近所の若い娘を集めた 10 数人の私塾でしたが，大妻の教授法は好評で，また，当時の女子教育普及の波にも乗り生徒数が増加しました。大妻は学校の設立を勧められ，1916（大正５）年に大妻技芸学校を設立します。さらに，1919（大正８）年には私立大妻高等女学校を，そして，日本で初めての女子勤労学生のための「大妻中等夜学校」を設立しました。1949（昭和 24）年には，現在の大妻女子大学へと発展させ，校長，学長を歴任しました。1952（昭和 27）年には，郷里の甲山町に甲山高等技芸学校を開校して校長となり，世羅郡周辺の女子教育の振興にも努めました。

大妻は，女性が高等教育を受けることが容易でなかった時代だったからこそ，働く女性のための夜学校の開設や，地方の人のための講習会の開催，講義録に基づく通信教育にもいち早く取り組み，すぐに役立つ実学を重視しました。また，大妻は，学内に寄宿舎（きしゅくしゃ）を設け，生徒や学生らと生活を共にして日常的な礼儀作法などを教えました。

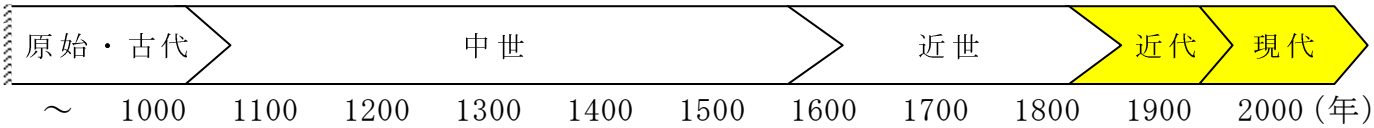
大妻は，生涯にわたって女子教育に尽くすとともに，家事評論家としても活躍します。関連雑誌の評論の他，文部省が認定した「現代裁縫全書」，「模範裁縫教科書」，「新選裁縫教科書」など裁縫・手芸に関する多くの著書があります。

1954（昭和 29）年　藍綬褒賞（らんじゅほうしょう）受章
1964（昭和 39）年　勲三等宝冠賞（くんさんとうほうかん）受賞（第１回生存者叙勲（じょくん）で女性としては初）
1970（昭和 45）年　従四位勲二等瑞宝賞（じゅしい ずいほう）受賞
2002（平成 14）年　世羅町名誉町民授与

大妻コタカ
（世羅町提供）

大妻コタカ女史生家（世羅郡世羅町）

5　第二次世界大戦とひろしま　～原爆ドーム～

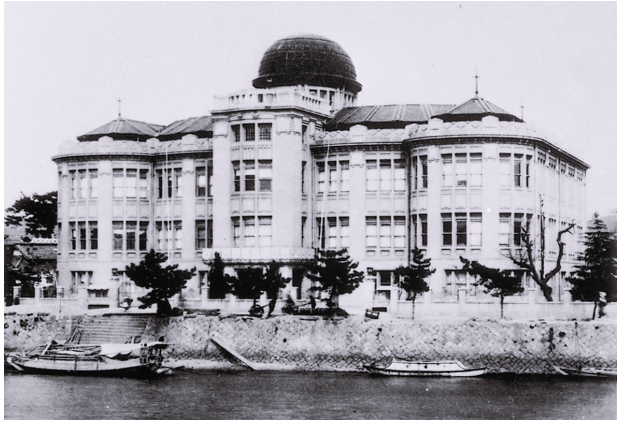


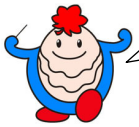
1　原爆ドームとはどのような建物なのでしょうか？

下の２枚の写真は同じ建物の写真です。左の写真は，広島市中区にある原爆ドームで，右側は被爆前の写真です。この建物は，1915（大正４）年，広島県物産陳列館として，チェコ人ヤン・レツルの設計により建てられました。当時の広島では，このようなヨーロッパ風の建築デザインによる建物は非常に珍しく，広島の名所の一つとなっていました。1933（昭和８）年には広島県産業奨励館という名称に変わり，ここでは，物産館の展示・販売以外にも博物館や美術館として利用されるなど，広島の文化振興の拠点となっていました。しかし，戦争の激化につれて，館内の展示や運営が縮小され，官公庁等の事務所として使用されるようになりました。

1945（昭和 20）年８月６日午前８時 15 分，この建物の南東約 160 メートルの地点に原子爆弾が投下されました。爆風がほとんど真上から到達したために，建物の一部は倒壊を免れ，残った頂上部分の形から「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。

原爆ドーム


広島県産業奨励館（広島平和記念資料館提供）



第二次世界大戦によって，広島の人々のくらしは，どのように変化したのでしょうか？また，「原爆ドーム」はなぜ世界遺産になったのでしょうか？

2　広島の人々は原爆投下前，どのような生活をしていたのでしょうか？

明治になり，広島に陸軍の拠点として鎮台[1]が設置されて以降，軍都として発展した広島では，軍関連の施設が多く作られ，造船や金属工業など軍需産業が盛んになりました。第一次世界大戦を契機

戦前の広島市街（提供：堤憲明）

に，国内の産業は発展し，広島のまちも活気付きました。それまでにあった，工場や住宅，商店に加え，活動写真常設館（今の映画館）や喫茶店などを備えた商店街もできました。市内電車の交通網も整備されました。

1931（昭和６）年に満州事変が起こると，広島からも宇品港などから派遣部隊が大陸へ渡りました。1937（昭和 12）年に日中戦争がはじまると，広島の各工場では軍需物資の生産が盛んに行われるようになりました。その反面，原材料も労働力も軍需生産に集中されたため，食料や衣料などの生活必需品が次第に不足し，物価も上昇してきました。

幟町国民学校での畑づくり作業（提供：山之上弘子）

この物資の不足により，1937年（昭和 12）年から肥料・石油などで配給制が実施され，1940年（昭和 15）年からは，米や麦などの生活必需品にも拡大されました。戦争の情勢が悪化してくると，生活必需品の不足はいっそういちじるしくなり，苦しい生活がしいられました。

やがて，国内の各都市への空襲が激しくなり，1945（昭和 20）年４月には，空襲を逃れるため，広島市でも学童疎開が始まりましたが，広島はほとんど空襲を受けることがありませんでした。しかし，８月６日，原子爆弾が投下され，熱線と爆風により，広島市は火の海と化したのです。

３　原爆は広島にどのような被害をもたらしたのでしょうか？

原爆の投下により，爆心地から 1.2 キロメートル圏内のほぼ半数の人々が，その日のうちに死亡し，２キロ圏内の建物はほとんどすべて破壊されました。全壊・全焼した建物の数は，５万以上ともいわれています。また，原爆投下後には「黒い雨」が降り，放射能による被害地域を拡大しました。

原爆被害により，広島では，1945（昭和 20）年中に約 14 万人が死亡したと推定されています。

原爆投下後の広島市街地
（撮影：岸田貢宜　提供：岸田哲平）

４　広島のまちはどのように復興し，どのような都市づくりが目指されていったのでしょうか？

広島は，被爆によって市街地が失われ，復興の中心となるべき任務をもつ市役所も多くの死傷者を出し，庁舎も全焼していました。しかし，こうした中において，広島の人々は新しい生活をつくるため予想以上に速く立ち上がりました。原爆投下から３日後には，市内電車が動き始め，水道や電気なども次第に

復旧し，人々も戻ってきました。これは，広島の人々の復興への努力はもちろんですが，軍都であったために，防衛体制を整えており，周辺町村を中心に全県下に非常時の救援体制が整えられていたという面もあったようです。こうして被爆直後に約８万 3000 人だった人口は，一年後には約 18 万 8000 人にまで回復します。しかし，人々が住んでいたのはバラックや被爆した建物を修理しただけのものであり，これらを放置すれば無秩序な街並みができることは明らかであり，新しい都市計画が必要でした。

相生橋復旧作業
（撮影：岸本吉太 提供：岸本坦）

1945（昭和 20）年 11 月には，第二次世界大戦で被害を受けた全国の都市の復興のため，国は戦災復興院をつくり，広島市を含む全国 115 の都市を戦災復興都市に指定しました。これを受け，それぞれの都市で復興の都市づくりが行われることになりました。

こうして，復興は始まりましたが，人口の減少などにより税金が集まらなかったことなどから，財源が不足し，計画通りにはなかなか進みませんでした。そこで，国に対し復興資金の追加や，国の持っている土地を無償で譲ってもらえるようにお願いをしましたが，115 の戦災復興都市の中で，広島市だけに特別な援助をするわけにはいかないということで，要望は聞いてもらえませんでした。そこで考え出されたのが，憲法 95 条による特別法[2]の制定でした。

1949（昭和 24）年５月，多くの関係者の努力によって，広島だけに効果のある「広島平和記念都市建設法」が国会で可決されました。しかし，この法律の成立には，広島市民の同意が必要とされることから，同じ年の７月７日に日本で初めての住民投票が行われました。広島市では圧倒的な賛成による法律の成立を目指して，投票と協力を呼びかける大規模なＰＲ運動を行いました。その結果，圧倒的多数の賛成を得て，日本で初めての憲法 95 条による特別法が成立

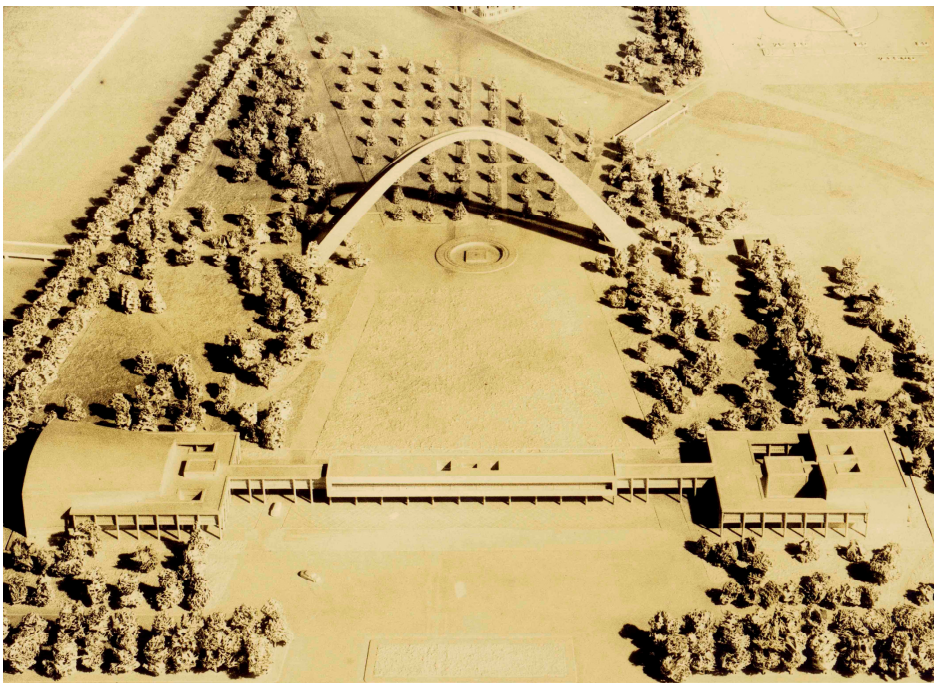
「広島平和記念都市建設法」（一部抜粋）

（目的）
第一条　この法律は，恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として，広島市を平和記念都市として建設することを目的とする。

（計画及び事業）
第二条　広島平和記念都市を建設する特別都市計画（以下平和記念都市建設計画という。）は，都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第四条第一項に定める都市計画の外，恒久の平和を記念すべき施設その他平和記念都市としてふさわしい文化的施設の計画を含むものとする。
２　広島平和記念都市を建設する特別都市計画事業（以下平和記念都市建設事業という。）は，平和記念都市建設計画を実施するものとする。

することになったのです。「広島平和記念都市建設法」は，原爆投下のちょうど４年後の 1949（昭和 24）年８月６日に公布，施行されました。この法律ができたことにより，国をあげて，広島市を世界平和のシンボルとして建設することになりました。この法律は，広島市の都市づくりの方向性の決定，国からの援助の増大など，広島の復興や都市づくりに大きな役割を果たしました。

この法律の考え方に基づき，新たに「広島平和記念都市建設計画」がつくられました。「平和記念都市」の建設に当たっては，恒久平和を記念する施設を備えていることや平和記念都市としてふさわしい文化的施設を備えていることが求められました。現在の中島町には，平和記念資料館・慰霊碑や大集会場などを備えた平和記念公園が設けられることになり，そのデザインは設計コンペティション（競争）で決められました。1949（昭和24）年に設計公募が開始され，145 点の応募作品の中から大アーチを通して原爆ドームを見通す丹下健三（【もっと知りたい！郷土の歴史】参照）のチームのデザインが一等となり，現在の平和公園の原型となっています。



平和公園設計時の模型（丹下健三設計）
（広島市公文書館提供）

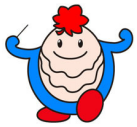
５　原爆ドームは，なぜ世界文化遺産になったのでしょうか？

原爆ドームについては，保存の考えに賛成する人たちばかりではありませんでした。平和の象徴としてそのまま残すべきであるという意見が多かった一方で，それを見るたびに，過去の恐ろしく悲惨な光景や思い出をよみがえらせてしまうので，取り壊すべきであるという意見もあり，保存と取り壊しの方針が決まらないまま，長い間そのままの状態となっていました。昭和 30 年代に入ると，原爆ドームの老朽化などが原因で倒壊の危険性が増し，「保存か」「取り壊しか」という議論が始まりました。

その後，保存を求める声が高まり，広島市では 1966（昭和 41）年，広島市議会が原爆ドームの保存を要望する決議を行いました。保存のための費用は，全国からの募金によってまかなわれました。

1992（平成４）年，日本の世界遺産条約加盟を受け，原爆ドームを世界遺産に登録しようという声があがってきました。当初，国は世界遺産にすることに

ついて，否定的な見解を示していましたが，原爆ドームの世界遺産化を求める全国的な署名運動が展開された結果，当時の文部省（現在の文部科学省）は，1995（平成７）年に世界遺産として登録することの推薦を行いました。1996（平成８）年にはメキシコで開催された世界遺産委員会において，人類史上初めて使用された核兵器の惨禍をありのままに伝えるとともに，時代を越えて核兵器廃絶と世界平和を訴えるメッセージを世界中に発信し続ける文化遺産として，原爆ドームの世界遺産登録が決定しました。



第二次世界大戦前から復興までの広島の様子及び原爆ドームが世界遺産となるまでの経緯について，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】
(1) 明治時代前半に置かれた日本陸軍の編成単位のこと。1873（明治６）年には，東京，仙台，名古屋，大阪，広島，熊本に置かれた。
(2) 一つの地方公共団体だけに適用される特別な法律のこと。この法律を制定するためには，適用されることとなる地方公共団体の住民投票で，過半数の同意を得る必要がある。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○身近な地域の戦争や被爆の様子について調べてみよう！
- 戦時中の衣・食・住はどうだったのでしょうか。
- 学童疎開や建物疎開はどのようなものだったのでしょうか。
- 原爆の影響はどのようなものだったのでしょうか。
- 「黒い雨」とはどのような雨で，どの地域まで降ったのでしょうか。

○原爆以外に，県内で受けた空襲などについて調べてみよう！
- 呉空襲や福山空襲では，空襲の様子はどうだったのでしょうか。その前後のまちや人々のくらしの様子はどのようなものだったのでしょうか。

○原爆ドーム以外の被爆建物について調べてみよう！

○身近な地域の復興の様子について調べてみよう！
- 身近な地域の人々は戦後の復興にどのようにかかわっていったのでしょうか。

◇広島平和記念資料館
住所　広島市中区中島町 1-2　TEL：082-241-4004（総合受付）　ＨＰ

◇国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
住所　広島市中区中島町 1-6　TEL：082-543-6271　ＨＰ
※原爆被災に関する多くの資料が展示されています。

◇広島市役所
住所　広島市中区国泰寺町一丁目 6-34　TEL：082-245-2111　ＨＰ

◇広島市公文書館
住所　広島市中区大手町四丁目 1-1　TEL：082-243-2583　ＨＰ

【もっと知りたい！郷土の歴史】

竹屋国民学校六年生の日記～空腹をこらえて慣れない暮らし～

戦時中の人々の生活については，さまざまな記録が残されています。1945（昭和 20）年当時，広島市の竹屋国民学校（現在の広島市立竹屋小学校）六年生であった学童の日記が残っており，集団疎開先である筒賀村（現在の安芸太田町筒賀）での暮らしぶりがつづられています。

「七月二八日　今日も陸軍病院の開墾作業であった。」「三一日　夕方前までに，大八車（荷物を運ぶ人力の二輪車）で下の方の農業会などへ行った。（中略）こちらへ来て今日ほどつらかった事はなかった。」といった慣れないくらしにまつわる記述や，学校が始まってからの戦争ごっこや放課後に山や川で遊んだ楽しい思い出の記述も見られます。

原爆投下後には，広島の壊滅が学童たちに断片的につたえられ，彼らが不安な日々を送ることを余儀なくされた様子がつづられています。この日記は，当時を伝える貴重な記録となっています。

丹下健三

丹下健三（1913～2005）は，戦後日本を代表する建築家で，日本国内だけでなく海外でも非常に高い評価を得ている人物です。戦後の復興期から高度経済成長期にかけて，多くの国家的なプロジェクトを手がけました。1930（昭和５）年に愛媛から旧制広島高校（現広島大学）に進学した丹下は，その後，東京帝国大学（現東京大学）工学部建築科へと進みます。

戦後，彼が関わっていた戦災復興院（現国土交通省）の復興計画に広島が取り上げられると聞き，志願して担当を申し出ます。彼にとって広島は建築家を志すきっかけとなった場所でした。彼は広島の都市計画業務に従事し，その成果が広島平和公園のコンペで１位入選という形で表れます。

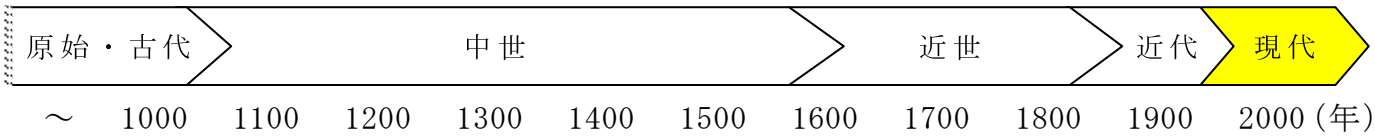
他の設計案が，公園内のみを視野に入れたものであったのに対し，丹下は平和大通りと直行する南北線上に慰霊碑と原爆ドームを配しており，その都市的スケールが高く評価されたのです。

彼はその後も広島平和記念資料館，東京オリンピック国立屋内総合競技場（代々木体育館）をはじめ，国内外の重要な建築物を数多く手がけ「世界のタンゲ」と呼ばれるようになるのです。

勲一等瑞宝賞，文化勲章を受章，また，フランス政府からレジオンドヌール勲章を受章しています。

広島平和記念資料館

6　戦後復興とひろしま　～産業～



1　広島県ではどんな産業が盛んなのでしょうか？

広島県は戦争によって，主要な都市を中心に焼け野原となってしまいました。しかし，現在，広島県には，かき養殖，鯛やたこ漁，レモンやみかんなどのかんきつ類の生産，米づくり，自動車製造，造船，化学，筆や琴などの伝統工業，木材，小売・卸売など地域の特色を生かした様々な産業があり，全国的に見ても出荷額の高い産業が多くあります。また，日本国内や世界で活躍する企業も数多くあります。

広島で製造された自動車
（マツダ（株）提供）

戦後，広島県の産業はどのように復興していったのでしょうか。どんな産業がどのようにして生まれ，現在にいたっているのでしょうか。広島県の「ものづくり」（製造業）を中心に考えてみましょう。

戦争で大きな被害を受けた広島の産業は，戦後，どのように復興していったのでしょうか？

2　どのような計画のもとに復興は進められたのでしょうか？

1951（昭和 26）年，当時の広島県知事だった大原博夫は，「広島生産県構想」を進めました。この構想は，当時全国平均の 8 割弱だった県民所得を 1956（昭和 31）年までに全国水準まで引き上げることを目標にしていました。このように所得水準が低かった理由には，戦前の広島県の産業構造が軍需産業に依存していたことが背景にあったと言われています。

広島生産県構想は，農林水産業の振興，商工業の振興，交通網の整備強化，治山治水の確立の四つを産業振興の重点に掲げていました。その後の第二次生産県構想では，臨海工業地帯の造成に重点が置かれ，宇品地区の臨海工業地帯を増築することが決定しました。

『生産県へのみち』
（広島県立文書館提供）

また，1955(昭和 30)年頃からは，大竹市，呉市を中心とする旧軍施設への企業誘致が積極的に行われました。広島市から呉市にかけては鉄鋼・造船・自動車等の重工業が急速に発展し，大竹市には石油コンビナー

トができました。こうして，広島生産県構想は着実に実を結び，工業化が進むこととなりました。

1958（昭和 33）年には，軍需産業からの転換や生産県構想により，県民所得は1950（昭和 25）年の約３倍となりました。

現在の大竹市コンビナート（大竹市提供）

３　広島県内の企業は復興に向けどのように動いたのでしょうか？

戦争が終わり，県内には戦時中の軍需施設と多くの失業者があふれることとなりました。その後，次第に工場などでは機械の修繕（しゅうぜん）や整備作業がはじめられ，また，ＧＨＱ（連合国軍最高司令官総司令部）の許可を受け，軍需施設の平和産業への転換も図られました。例えば，呉市広地区の海軍航空廠（かいぐんこうくうしょう）[1]では，広島鉄道局が機関車部品の製作や自動車修理を行いました。

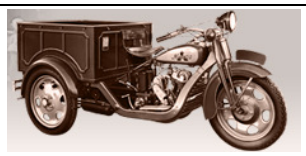
広島の自動車製造の代表メーカーである「マツダ」は，最初は，コルク生産を主に行う「東洋コルク工業」という会社でした。社名を「東洋工業」に改めた後，1931(昭和６)年には，３輪トラックの生産を開始しましたが，戦争中は歩兵銃（じゅう）や航空機用発動機部品などを生産する，陸海軍の共同管理工場となっていました。

軍需を中心としていた東洋工業でしたが，敗戦から２か月後には民需生産転換計画，つまり平和産業への転換計画を立て，ＧＨＱの許可を得て 12 月には自動三輪車，自転車，削岩（さくがん）機，工具類などの生産を開始したのです。

その後，日本のモータリゼーション[2]が加速する中で，次々と新車種を発表し，現在では，世界的な自動車生産メーカーとして活躍しています。

このようにして，広島県では，戦争中に軍需産業に使用されていた施設やそ

年	マツダの歴史
1920（大正９）	東洋コルク工業として設立
1927（昭和２）	東洋工業に社名を変更
1931（昭和６）	３輪トラックの製作開始
	「軍需工業動員法」により陸海軍の共同管理工場となる
1945(昭和 20)	終戦をむかえ３輪トラックの輸出を再開
1957(昭和 32)	自動車生産累計 20 万台を突破
1960(昭和 35)	R 360 クーペ生産・販売開始
1963(昭和 38)	自動車生産累計 100 万台を突破
1967(昭和 42)	初のロータリーエンジン搭載車である「コスモスポーツ」を発売



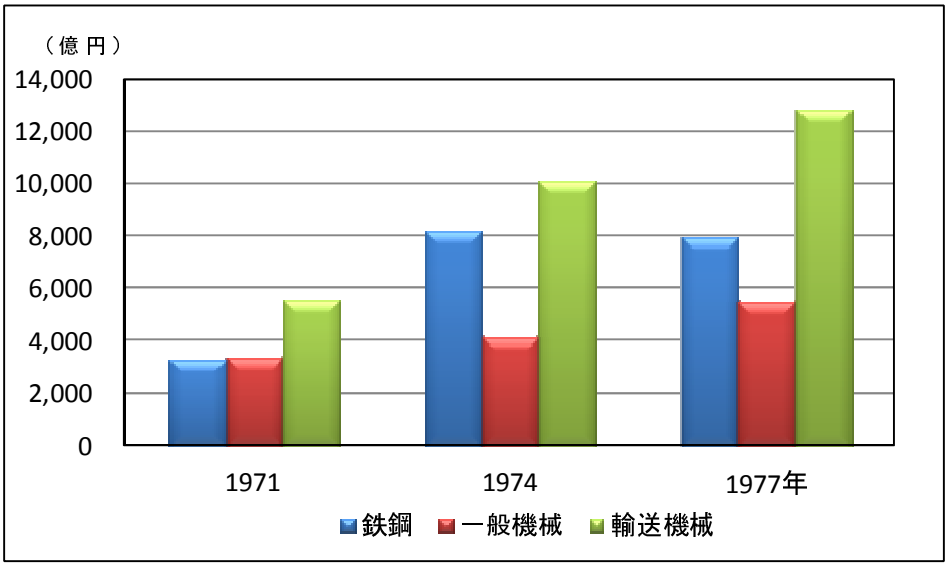
３輪トラック「マツダ号」

R360 クーペ

コスモスポーツ（初代）

（※写真はマツダ(株)提供）

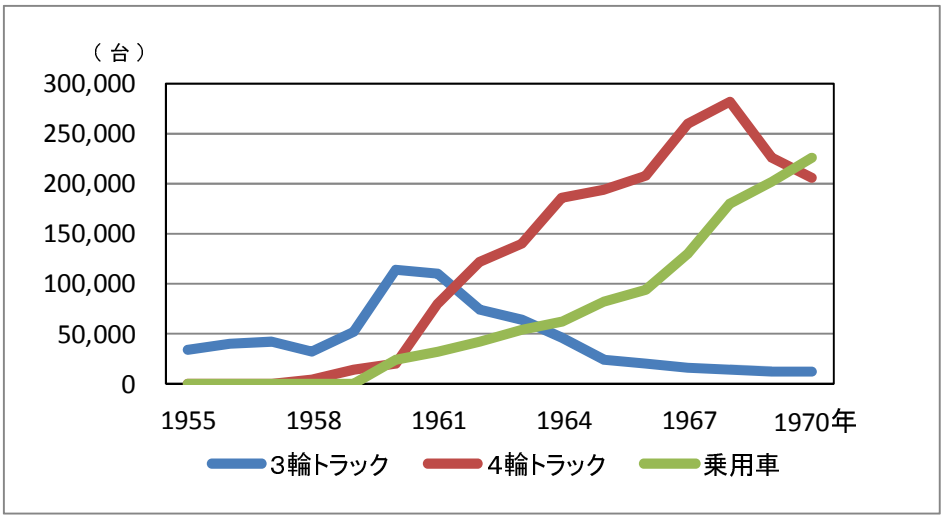
の技術を活かし，製造業を中心に発展しました。中でも製造業の中心となったのは，自動車と造船です。グラフは，高度成長期の主要工業の生産額の推移を示しています。輸送機械（自動車や造船など）の割合が高くなっているのがわかります。



主要工業の推移（『広島県史』）

4　重工業の発展によって広島はどのように変わったのでしょうか？

東洋工業は総合自動車工業の確立をめざし，1955（昭和30）年代後半には設備の拡張（かくちょう）を積極的に進めました。グラフからもわかるように，自動車（乗用車）の生産台数は年々増加傾向にありました。東洋工業では，大量生産の体制を築くため，新工場用地が必要となっていました。



東洋工業自動車生産台数（『広島県史』）

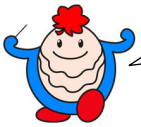
広島県は，第二次生産県構想の一環として広島市宇品地区東部公有水面を埋め立てる臨海工業地帯の造成を進めていました。東洋工業は広島港東部埋め立ての工場用地をゆずりうけ，ここに自動車工場の増築を計画し，工場は 1967（昭和 42)年 4 月に総工費 106 億円をかけて完成しました。

この工場の生産台数は，初めはひと月の生産能力を 5000 台としていましたが，翌年には 1 万 2000 台に増強するほどで，安芸郡府中町から広島市宇品地区にまたがる自動車一貫量産工場地帯が誕生したのです。

宇品乗用車専門工場（昭和 55 年撮影）
（マツダ（株）提供）

こうした産業の発展などの影響で，広島県の生産所得は，1950（昭和 25)年で 662 億円でした

が，1962（昭和 37)年には 3,566 億円と 5.4 倍に，県民一人当たりの所得も 3 万 1000 円から約 19 万円と 6.1 倍に上昇し，全国平均を上回りました。広島県の復興には自動車産業や造船産業等の製造業の発展が大きく貢献しています。



広島の産業が，戦後，どのように復興していったのか，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】
(1) 航空機開発を担った軍需工場のこと。
(2) 自動車が輸送機関としてだけでなく，生活必需品として市民生活の中に入り込んできている状態。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○広島県の産業別人口構成の変化を調べてみよう！
○広島県の農業の特色について調べてみよう！
　・広島県の農業や水産業で生産高が全国１位のものは何でしょうか。
　・それらはいつ頃からどのようにして盛んになったのでしょうか。
○広島県の地場産業の戦争中の様子，戦後の復興・発展について調べてみよう！
　・府中市の家具づくり　・福山市松永の下駄づくり　・東広島市の酒づくり

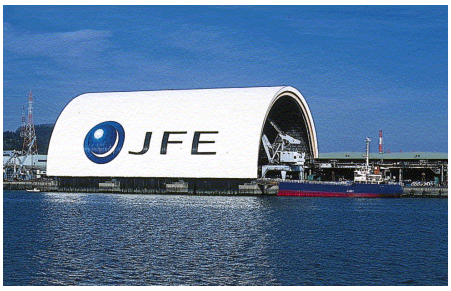
◇マツダミュージアム
　住所：安芸郡府中町新地 3-1　TEL：082-252-5050　ＨＰ
◇ＪＦＥスチール西日本製鉄所（福山地区）
　住所：福山市鋼管町１番地　TEL：084-945-3118　ＨＰ
◇広島県立文書館
　住所：広島市中区千田町 3-7-47　TEL：082-245-8444　ＨＰ

【もっと知りたい！郷土の歴史】

福山の鉄鋼業

1955（昭和 30）年から 1973（昭和 48）年にかけて日本経済は驚異的な経済成長を遂げることになります。この時期，四大工業地帯以外への工場配置が目指される中で，格好の条件をもっていたのが瀬戸内海地域の臨海部でした。1962（昭和 37）年には福山市へ日本鋼管（現ＪＦＥスチール）が誘致されることになりました。

また，日本製鉄所（福山地区）では，1966（昭和 41）年の第１製鋼工場稼働以降，第３製鋼工場が稼働する 1973（昭和 48）年までのわずか７年間で世界最大規模の製鉄所を完成させ，1975 年度の生産ピーク時には福山としての最高粗鋼生産量（年間 1,343 万トン）を記録しました。このように日本鋼管から始まった福山臨海部の発達は，世界的にみても競争力のあるものとなりました。



雨天荷役ドーム（福山地区）
（ＪＦＥスチール（株）提供）

日本鋼管福山製鉄所建設協定書の調印の様子
（1967 年度）　（広島県立文書館提供）

7　高度経済成長とひろしま　～池田勇人～

原始・古代 ＞ 中世 ＞ 近世 ＞ 近代 ＞ 現代

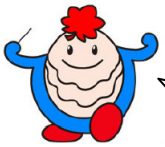
～　1000　1100　1200　1300　1400　1500　1600　1700　1800　1900　2000（年）

1　池田勇人とはどのような人物でしょうか？

池田勇人（1899～1965）は広島県豊田郡吉名村（現在の竹原市吉名町）出身の政治家です。大蔵大臣や通産大臣などの重要な職を務めた後，1960（昭和35）年に内閣総理大臣となりました。広島県出身では加藤友三郎に次ぐ二人目の内閣総理大臣です（現在の憲法下では初）。

池田は，「所得倍増計画」という政策を掲げ，日本の高度経済成長を成し遂げ，戦後の日本における経済成長の基礎を築いた人物です。そして，この経済成長は，日本の国際的地位を向上させることにもなりました。

池田勇人



池田勇人は，どのようにして戦後日本の経済成長の基礎を築き，国際的地位を向上させたのでしょうか？

2　池田勇人は，どのようにして戦後日本の経済成長の基礎を築いていったのでしょうか？

池田は，1949（昭和24）年１月の衆議院議員選挙に初当選しました。同年２月に成立した第３次吉田茂内閣では，一年生議員でありながら大蔵大臣に抜擢され，戦後の重要な経済政策を推し進めました。

1951（昭和26）年９月８日，サンフランシスコで開かれた対日講和会議には吉田茂首席全権委員に同行するなど吉田首相の信任が厚く，1954（昭和29）年に吉田政権が退陣するまで大蔵大臣，通商産業大臣等

年	おもなできごと
1899（明治32）	豊田郡吉名村（現竹原市）に生まれる
1925（大正14）	京都大学卒業後，大蔵省（現財務省）に入省する
1947（昭和22）	第１次吉田内閣で大蔵事務次官に抜擢される
1949（昭和24）	衆議院議員選挙で初当選。第３次吉田内閣で大蔵大臣に就任する
1950（昭和25）	通商産業大臣を兼任する
1951（昭和26）	全権委員のひとりとして，サンフランシスコ平和条約に署名する
1956（昭和31）	石橋湛山内閣で大蔵大臣に就任する
1957（昭和32）	岸信介内閣で大蔵大臣に就任する
1958（昭和33）	第２次岸信介内閣で国務大臣に就任する
1959（昭和34）	岸信介改造内閣で通商産業大臣に就任する
1960（昭和35）	自由民主党総裁選挙で当選。第58代内閣総理大臣に指名される 「国民所得倍増計画」を閣議決定する
1962（昭和37）	アメリカのケネディ大統領と会談する
1964（昭和39）	東京オリンピック終了翌日に退陣表明する
1965（昭和40）	８月13日に永眠（享年65歳）

池田勇人の年表

の要職を歴任しました。そして，1960（昭和35）年に内閣総理大臣となりました。

日本経済は戦争によって混乱していましたが，GHQ[1]による占領期間中の様々な改革や朝鮮戦争などによって，1950年代半ばまでに経済は戦前の水準に回復しました。その後，1955（昭和30）年から1973（昭和48）年までの間，日本は年平均で10％前後の経済成長を続けるのです（高度経済成長期）。その成長を支えたのが，池田の「所得倍増計画」でした。

サンフランシスコ平和条約調印の様子
（右から二人目が池田）

池田勇人筆「経国済民」

※大蔵大臣（現財務大臣）時代の書で，「経世済民」に同じ。「経済」の語源となった言葉。

3　「所得倍増計画」はどのような計画でしょうか？

内閣総理大臣となった池田は，経済発展を中心政策にした政治を推し進めました。内閣総理大臣になる前の1959（昭和34）年の参議院議員選挙で池田は各地で次のような演説を行っていました。

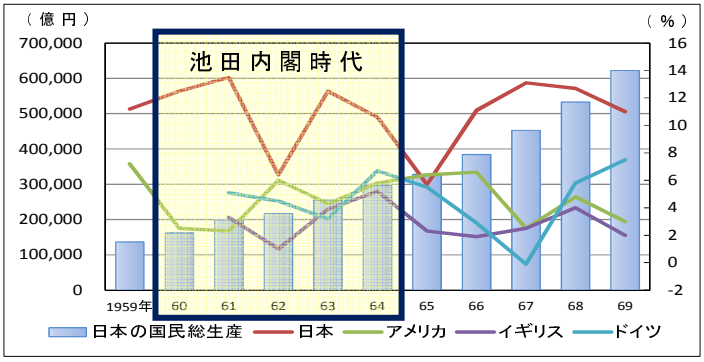
「お仕事中のみなさん，私の話をちょっと聞いてください。みなさんの月給が２倍になるという話をいたします。」

池田は，国民所得倍増を達成するため，次のような政策等を行いました。

○1000億円以上の減税
・法人税・所得税の減税により労働者の収入が増加。購買力（ものを買う力）が向上する。そのためものが売れ，企業の増産により景気が上向く。
○中小企業の近代化
・技術や設備の改善とそのための資金を助成し，技術指導を行うことにより，増産を図る。

また，日本製品を海外に多く輸出できるように努力しました。国内産業においても，1960年代半ばにはカラーテレビ，クーラー，自動車のいわゆる「３Ｃ」が普及し，「新・三種の神器」と呼ばれて豊かさや憧れの象徴となりました。こういった新製品の供給が国民の需要を呼び起こしました。

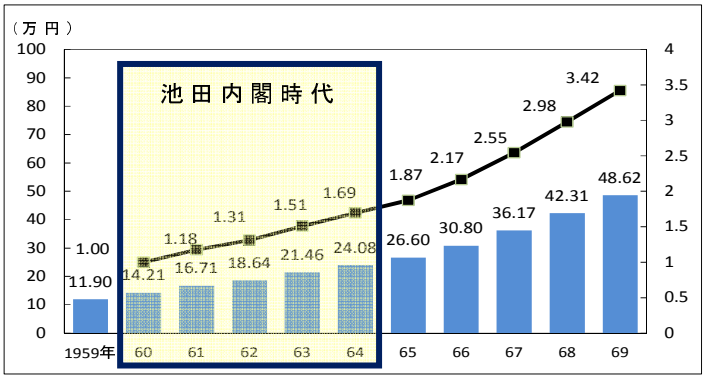
国民所得倍増計画を中心とする池田の経済政策は，“世界の奇跡”と呼ばれ，当時，経済力に不安のある国として見られていた日本が，



日本の国民総生産と各国の実質経済成長率の推移
（『池田政権・1575日』）

経済でアメリカやヨーロッパに認められるようになりました。

1964（昭和39）年にアジアで最初に開催（かいさい）された東京オリンピックは，池田の政策の追い風になりました。このオリンピック開催に向け，大規模なインフラ[2]整備が活発に行われます。東海道新幹線の東京－新大阪間が開業したのは，池田内閣の時です。



一人当たりの国民所得の推移
（折れ線グラフは1960年を「1」とした値）
（『池田政権・1575日』）

こうして，「10年で国民総生産[3]と国民所得を倍増させる」とした池田内閣の時代に，国民総生産は倍増し，国民所得も内閣発足（ほっそく）から６年後の1966（昭和41）年には２倍を超えるのです。

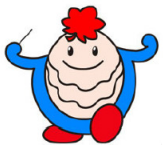
４　池田は，どのように日本の国際的地位を向上させたのでしょうか？

池田による外交の特徴（とくちょう）は，最初の施政方針演説（しせいほうしんえんぜつ）における「外交と内政は本来一体不離」という言葉に集約できます。所得倍増計画における経済政策において，日本が国際社会に認められるためには，貿易の自由化が課題であり，それを実行することで先進国として認められることを目指すものでした。1961（昭和36）年６月，池田はアメリカ合衆国大統領ケネディと日米首脳（しゅのう）会談をワシントンで行い，アメリカが日本のＯＥＣＤ[4]への加盟に力を尽くすといった言葉を引き出し，また，日米両国が自由な貿易政策をとるべきこと等の共同声明を発表しました。

池田とケネディ大統領の会談

1963（昭和38）年４月，日本はＩＭＦ（国際通貨基金（こくさいつうかききん））において先進国と同じ扱いとすることが認められ，ＯＥＣＤに正式加盟を果たしました。池田の経済政策，外交政策によって，日本は国際的な地位を得て，先進国の一員になりました。

（※写真はすべてたけはら美術館提供）



池田勇人が，どのようにして戦後日本の経済成長の基礎を築き，国際的地位を向上させたのか，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】
(1) 連合国軍最高司令官総司令部のこと。戦後の日本における占領政策を実施した連合国軍の機関。
(2) 生活や産業の基盤となる公共施設等。道路・鉄道，上下水道，学校，公園など。
(3) 一定期間に国民によって生産された財（商品）やサービスの総計。現在は国内総生産という概念が用いられるようになっている。
(4) 経済協力開発機構。先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて，経済成長，貿易自由化及び発展途上国支援に貢献することを目的としている。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○高度経済成長期の広島の様子を調べてみよう！
- 1964（昭和 39）年の工業整備特別地域整備促進法により，備後地域が指定された工業整備特別地域とはどういうものでしょうか。
- 高度経済成長の頃，人々の暮らしはどのように変化したのでしょうか。
- 東京オリンピックや大阪万国博覧会が開催された時，人々はどのような思いだったでしょうか。

○身近な地域の高度経済成長の様子を調べてみよう！
- 地域の道路網はどのように整備されていったのでしょうか。
- 瀬戸内沿岸の工業の発展はどのように進んだのでしょうか。

◇たけはら美術館
住所：竹原市中央五丁目 6-28　　TEL：0846-22-3558　ＨＰ
※故池田勇人氏が生前愛蔵した「池田コレクション」をはじめ，郷土ゆかりの作品を収蔵しています。

【もっと知りたい！郷土の歴史】

宮澤喜一（みやざわきいち）

右の写真の前列右端で万歳（ばんざい）をしている人が誰か分かりますか。後に第78代内閣総理大臣となった宮澤喜一（1919～2007）です。池田勇人が大蔵大臣を務めていたとき，宮澤はその秘書官を務めていました。

宮澤は，1953（昭和28）年の第３回参議院議員通常選挙に広島選挙区から出馬し当選しました。そして，1963（昭和38）年，第３次池田内閣の時，経済企画庁（現内閣府）長官に任命されています。

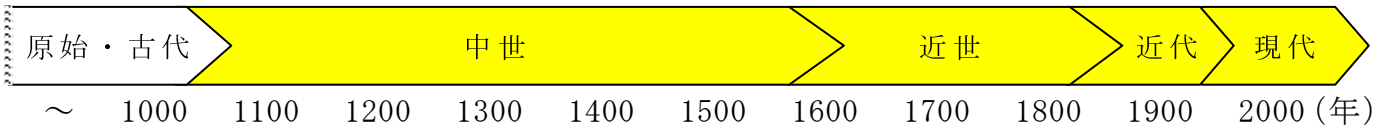
宮澤喜一と池田勇人
（たけはら美術館提供）

宮澤は，サンフランシスコ平和条約やアメリカでの池田とケネディ大統領との会談の際に随行（ずいこう）しています。彼の英語力は政界随一（ずいいち）とも言われ，海外留学や英語の専門教育を受けた経験はありませんでしたが，独学で英語を勉強した努力家であることが知られています。

1991（平成３）年，72歳で内閣総理大臣に就任し，国際派の総理大臣として期待されました。宮澤は，「社会的蓄積（ちくせき）や美観など質の面でも真に先進国と誇れるような，活力と潤いに満ちた，ずっしりと手応えのある『生活大国』つくりを進めていきたいと思います」と述べ，「生活大国」の建設を大きな政策目標に掲げ取り組みました。政治の師匠（ししょう）である池田元首相が敷いた経済成長の路線から，国民生活の充実を重視する方向を目指したのです。

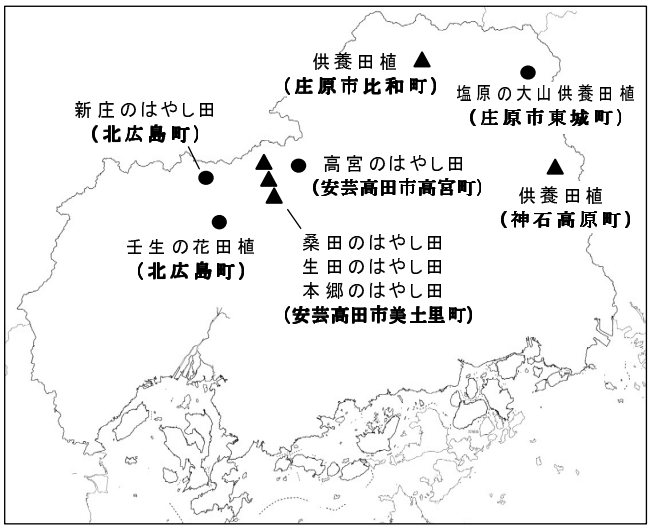
1993（平成５）年，内閣総理大臣を辞任（じにん）後も，1998（平成10）年の小渕（おぶち）内閣の時に大蔵大臣に就任します。内閣総理大臣経験者が再び大蔵大臣に就任することは異例で，経済政策に優れた戦前の政治家高橋是清（たかはしこれきよ）になぞらえて，「平成の高橋是清」とも呼ばれました。広島県名誉県民及び福山市名誉市民として顕彰（けんしょう）されています。

8　日本の伝統芸能とひろしま～壬生の花田植～



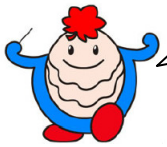
1　伝統的な田植行事はどのような形で現代に残っているのでしょうか？

稲作は，主食である米を作るというだけではなく，日本の民俗や風習にも大きな影響を与えてきました。田植えは，その中でも特に重要視され，労働であると同時に神事でもありました。その田植えで「楽器を伴奏として，それに合わせて苗を植える」という田植行事が古くから行われていました。その行事は「田楽」とよばれ，その年の豊作を田の神に祈ることを目的としていました。それが，次第に「芸能としての田楽」と「田植えとしての田楽」に分かれていき，「芸能としての田楽」は踊りの要素が強くなっていきました。



県内の伝統的な田植行事
（●:国重要無形民俗文化財　▲:県無形民俗文化財）

一方，「田植えとしての田楽」は失われていった地域もありますが，中国山地などでは，先人の努力によって受け継がれてきました。稲作において負担の大きい田植えは，昔は地域や村で支え合っていました。その際に行われていた旧来の神事のみならず，苦しい田植えにおいて楽しく作業するためや，作業効率を高めるために，太鼓や笛に合わせ，唄を歌って苗を植えるという形式は，中国山地など一部の地域で受け継がれています。広島県内では北部を中心に継承されており，中でも，北広島町に伝わる「壬生の花田植」は，2011（平成 23）年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。



「壬生の花田植」は，現在にどのように継承されてきたのでしょうか？どのような特徴のある田植行事なのでしょうか？

2　「壬生の花田植」は，現在にどのように継承されてきたのでしょうか？

県北西部の壬生（北広島町）は，田植行事が盛大に行われてきた地域です。このような行事は明治時代には，「大田植」や「花田植」などとよばれるようになっていました。この頃になると，行事の目的に地域の実力者が自分の力をアピールする場という要素も加わり，地主などが自分の持っている最も大きな田で，地域の人を雇って華やかに田植行事をするようになりました。

「壬生の花田植」の様子

しかし，花田植が行われる機会は徐々に減り，昭和になるころには地主による盛大な田植行事は行われなくなっていました。

そこで，伝統的な行事が見られなくなっていくことを惜しんだ壬生町（当時）の商工会の人々が，地域の詳しい人の助けも借りて，地域の行事として継承していこうと「壬生のはやし田」として再興しました。その後，1975（昭和 50）年には県の無形民俗文化財[1]に指定されました。一方，隣の川東地区でも同様に「川東のはやし田」が再興されており，壬生より 10 年以上前に県の無形民俗文化財に指定されるほど，昔の形を残す貴重なものでした。

区分		名称	記載年
重要無形文化財	芸能	能楽	2008
		人形浄瑠璃文楽	2008
		歌舞伎	2008
		雅楽	2008
		組踊	2010
	工芸技術	小千谷縮･越後上布	2009
		石州半紙	2009
		結城紬	2010
重要無形民俗文化財	風俗慣習	日立風流物	2009
		京都祇園祭の山鉾行事	2009
		甑島のトシドン	2009
		奥能登のあえのこと	2009
		壬生の花田植	2011
		和食	2013
	民俗芸能	早池峰神楽	2009
		秋保の田植踊	2009
		チャッキラコ	2009
		大日堂舞楽	2009
		題目立	2009
		アイヌ古式舞踊	2009
		佐陀神能	2011
		那智の田楽	2012

国内のユネスコ無形文化遺産
※2013（平成 25）年 12 月現在

翌年の 1976（昭和 51）年，川東・壬生の両地区のはやし田が合同で国の重要無形民俗文化財として指定されることとなり，「壬生の花田植」となりました。現在でも毎年６月の第一日曜日に，壬生に特設してある田で行われ，花田植を行う人は百人近くにもなり，当日は多くの観光客が集まりにぎわいます。そして，その継続的な活動が評価され，日本の稲作に関わる文化を継承しているものとして，ユネスコの無形文化遺産に県内第一号として登録されたのです。

３　「壬生の花田植」にはどのような特徴があるのでしょうか？

「花田植」には効率よく田植えを行う工夫がたくさんあります。田植え全体を仕切る人を「サンバイ」とよび，田植唄を歌って「早乙女」とよばれる苗を植える女性達の作業のテンポを合わせます。田植唄は多数あり，サンバイはユーモアのある唄や恋愛の唄なども歌い，田植えを楽しくできるように配慮します。田植唄に合わせて合奏をするのが「囃し手」です。大太鼓・小太鼓・笛・手打鉦の４種に分かれており，笛は唄の旋律をとり，小太鼓と鉦は拍子をとります。人数の多い大太鼓は唄によって打ち方が決まっており，バチを回したり投げたりして盛り上げ，この行事の芸能としての側面を担います。他にも，田植えの前に田を掻く「飾り牛」にも昔ながらの作法があり，中世・近世からの田植行事を守り続けています。

参加者は地元の人で，練習を重ねて磨き上げた技能を披露し伝統を継承しています。現在は農作業で牛を使うことはほとんどなく，飾り牛となる牛の確保が困難になってきていることなど開催には苦労があります。しかし，昔の人々の稲作での苦労や工夫，歴史的な深い繋がりを現代に伝える国際的にも価値ある伝統芸能として，大切に守られています。

「飾り牛」

4　「壬生の花田植」はどのような流れで進むのでしょうか？

「壬生の花田植」は次の流れで，およそ半日をかけて行います。

○道行（みちゆき）

参加者は，田から少し離れた場所に集合・準備し，移動します。先に飾り牛が行き，続いて進む田楽団は道行の途中で，囃子（はやし）を演じます。

飾り牛の道行

田楽団の道行

○代掻（しろか）き

先に到着した飾り牛はさっそく田に入り，代掻きをします。田をしっかりと耕（たがや）し，荒れた田の表面は「エブリ」という道具を使ってならします。

代掻きの様子

エブリを使う様子

○田植え

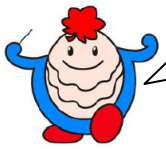
いよいよ田植えが始まります。サンバイ・早乙女・囃し手が一体となって整然（せいぜん）と華やかに田植えを行います。

田植唄を歌うサンバイ

囃し手の演奏

早乙女による田植えの様子（◇）

（※写真はすべて北広島町教育委員会提供（◇を除く））



「壬生の花田植」は，どのように継承され，どのような特徴があるのか，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【注】

(1) 文化財とは歴史の中で生まれた貴重な財産のことで，民俗文化財はその中でも人々の暮らしに関係するものをさす。建築物や絵画などの物品を「有形」，踊りなどの技術を「無形」と区分する。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○県東部の「供養田植」についても調べてみよう！
　・県西部の田植行事との違いは何でしょうか。
○稲作に関する行事には他にどのようなものがあるか調べてみよう！
　・身近な地域の祭りなどで，稲作と関係あるものはないでしょうか。

◇芸北民俗芸能保存伝承館
　住所：山県郡北広島町有田 1234　　TEL：050－5812－5088　ＨＰ
◇広島県立図書館
　住所：広島市中区千田町三丁目 7-47　TEL：082－241－4995　ＨＰ

【もっと知りたい！郷土の歴史】

比婆荒神神楽（庄原市）

広島県は，秋の収穫を祝う祭りでよく見かける「神楽」が非常に盛んな地域の一つで，各地の「神楽団」など神楽を受け継いでいる団体数や神楽の種類は，全国指折りの多さです。

広島県の神楽は，地域によって演目や舞い方などに違いがあり，いくつかの種類に分けられます。この違いは，県内各地の神楽が，隣接する他県の神楽の影響を受けたことで生じたものです。例えば，県北西部の安芸高田市や北広島町を中心とした地域では，島根県西部の石見地方の神楽が取り入れられ，テンポが速く華麗な舞の「芸北神楽」が発展しました。また，県北東部では，島根県東部の出雲地方や，岡山県西部の備中地方の影響を受けて発展した「比婆斎庭神楽」や「比婆荒神神楽」が受け継がれています。

このうち，比婆荒神神楽は，庄原市東城町や西城町で受け継がれてきたもので，江戸時代以前に遡る歴史をもつとともに，神楽本来の姿を伝える神楽として，神楽では県内で唯一，国の重要無形民俗文化財の指定を受けています。７年に一度，13 年に一度，あるいは 33 年に一度というように，それぞれの集落で決められた一定の年ごとに奉納され，その間に亡くなった祖先の霊を浄土に送るために，藁でつくった大蛇を使って「竜押し」とよばれる神事を行うといったような特徴があります。

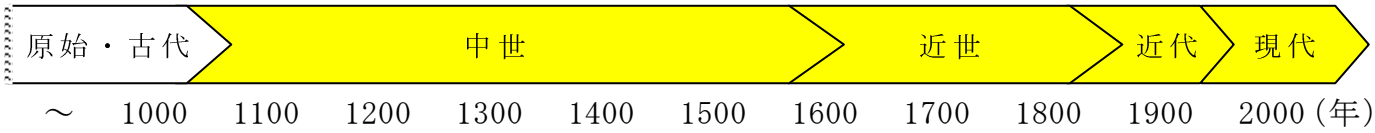
現在，非常に人気を集めている「オロチ退治」や「鬼退治」を物語にした神楽だけでなく，県内には地域ごとにさまざまな種類の神楽が受け継がれています。広島県は，神楽の宝箱なのです。

広島県の神楽の分布

比婆荒神神楽の猿田彦の舞
（広島県立歴史民俗資料館提供）

比婆荒神神楽の竜押し
（広島県立歴史民俗資料館提供）

9　日本の伝統文化とひろしま　～上田宗箇～

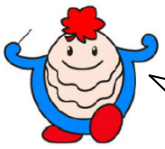


1　上田宗箇とはどのような人物でしょうか？

上田宗箇（1563～1650）は，安土桃山時代から江戸時代初期に活躍した武将であり，茶道上田宗箇流の創始者です。宗箇は，尾張国（現在の愛知県）に生まれ，織田信長の重臣丹羽長秀に仕えた後，豊臣秀吉に抜擢されて越前（現在の福井県）に１万石を与えられ大名になります。

1619（元和５）年，当時仕えていた紀州（現在の和歌山県）の浅野長晟が広島に国替となると，宗箇も広島に入りました。やがて，上田家の家督を二代重政に譲ると，窯を築き茶碗を焼くなど茶の湯三昧の晩年を送りました。宗箇は，一番槍の猛将として多くの武功を挙げた武将でありながら，茶人，そして庭づくりの名手としても優れた才能を発揮しました。宗箇の残した茶の湯は，茶道上田宗箇流として，代々受けつがれ現代の広島に残されています。

上田宗箇着用の具足
（仏胴腰取丸胴具足　鉄黒漆塗風折烏帽子形兜付）



上田宗箇はどのようにして茶道にかかわり，どのような特色をもった茶道を創始したのでしょうか？現在，どのように受け継がれているのでしょうか？

2　上田宗箇と茶道のかかわりはどのようなものだったのでしょうか？

豊臣秀吉の家臣となった宗箇は千利休の茶を学びました。利休が亡くなった後は，利休の弟子であり，当時天下の茶人として知られた古田織部の弟子となります。茶の湯に深く傾倒した宗箇は，織部と共に武家の茶にふさわしい価値観を創造していきます。

関ヶ原の戦いでは豊臣方につき敗れたため，領地を没収されますが，阿波（現在の徳島県）の蜂須賀家に招かれ，徳島城表御殿千秋閣庭園の作庭を行い，茶道の指南役（指導者）も務めました。その後，親せき関係にあった紀州（現在の和歌山県）の浅野幸長に求められ

年	おもなできごと
1563	尾張国星崎に生まれる
1574	丹羽長秀に仕える
1585	豊臣秀吉に仕える
1590	千利休の百会記の茶会に参加する
1601	古田織部の茶会に参加する
1602	蜂須賀家政に招かれて阿波に渡る
1605	浅野幸長に招かれて紀州に移る
1615	大坂夏の陣
1619	浅野長晟に同行し広島に移る
1620	縮景園の作庭に着手する
1650	88歳で亡くなる

上田宗箇の年表

て家臣となり，和歌山城西之丸庭園を作っています。

1615（元和元）年の大坂夏の陣では，徳川方として出陣し，和泉国樫井（現在の大阪府泉佐野市）の合戦では，敵の猛将を阻む功績を挙げ，徳川家康・秀忠から大いに賞賛されています。この戦いの最中，迫りくる敵を待ち受けながら，宗箇は平然として小刀を持って竹藪の竹を切り，茶杓を２本削りました。これが「敵がくれ」と呼ばれる茶杓です。宗箇が戦場にあって沈着不動の精神を持っている逸話として古くから知られた茶杓です。

竹茶杓「敵がくれ」
（上田流和風堂蔵）

宗箇作御庭焼茶碗「さても」
（上田流和風堂蔵）

広島へ移ってからは，小方（現在の大竹市）に１万 7000 石の領地を与えられ，浅野長晟に命じられて縮景園を完成させました。こうして庭づくりの名手としても知られるようになり，徳川家からも請われて名古屋城二の丸公園の作庭も担当しました。

宗箇は，利休の一切の無駄を排除した「わび」と織部の多様な「へうげ（ひょうげ）」の世界を融合させ，自らの茶道具の美意識を「ウツクシキ」という言葉で語っています。

縮景園の様子

３　茶道上田宗箇流はどのような特色があるのでしょうか？

上田宗箇流は現代まで残った武家茶道の流れを持つ独特な作法を伝えます。例えば，点前（抹茶をたてる順序・作法）は直線的で，外へ外へと向ける動き

男性正座横

女性座礼

が繰(く)り返されます。また，点前の中の柄杓(ひしゃく)の構え方，扱い方，帛紗(ふくさ)の扱い方が独特です。男性は柄杓で湯水をくむ動作に弓矢をつがえる動作が残っており，馬上での姿に似ています。茶巾(ちゃきん)（茶碗を拭くための布）のたたみ方は，男性はななめにさばくのに対して，女性は縦三つ横四つにさばきます。帛紗は，左腰に刀を差していた名残(なごり)から右腰につけています。

次の写真は，上田宗箇が住んでいた屋敷を復元した和風堂の様子です。このように当時の様子を伝える屋敷，茶室，庭園のほかにも，伝来の道具，古文書も数多く残されており，現代へ受け継がれています。

書院屋敷　廻り廊下

和風堂　鎖之間

茶室「遠鐘」

（※写真はすべて上田流和風堂提供）

上田宗箇は，どのような人物でどのように茶道にかかわり，どのような特色を持った茶道を創始したのか，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○広島県内に伝わる茶道や華道について調べてみよう！
- 上田和風堂の実際の建物はどのようになっているのでしょうか。
- 上田宗箇流以外にどのような流派があり，どのような特色があるのでしょうか。

○雅楽(ががく)や民謡，現代に伝わる和楽器などについて調べてみよう。
- 広島雅楽会や坂雅正会はどんな活動をしているのでしょうか。
- 民謡(みんよう)はいつ頃から謡(うた)われ，どのような特色があるのでしょうか。

◇上田流和風堂
　住所：広島市西区古江東町 2-10　TEL：082-271-5307　ＨＰ
◇縮景園
　住所：広島市中区上幟町 2-11　TEL：082-221-3620　ＨＰ
◇喜多流大島能楽堂
　住所：福山市光南町 2-2-2　TEL：084-923-2633　ＨＰ

【もっと知りたい！郷土の歴史】

喜多流大島能楽堂（福山市）

能楽は，室町時代，将軍足利義満の支援を受け，観阿弥・世阿弥親子によって大成され，その後，600 年以上演じ受け継がれてきた，日本を代表する伝統芸能です。桃山時代には，能の愛好家であった豊臣秀吉に守られ，能舞台，衣裳，能面などが現在使われている型とほぼ同じになったと言われています。

仕舞「羽衣」
（喜多流大島能楽堂提供）

喜多流は，江戸時代になり，それまでにあった４つの流派（観世，金春，金剛，宝生）に加えて，新たに創設を許された流派です。流祖は喜多七太夫で，将軍徳川秀忠の後援により創設を認められました。

喜多流の特長は，型は簡素，雄大で力強く直線的，謡も質実剛健といわれています。明治維新後，福山では藩の能楽師を務めていた家が途絶えたため，藩士であった大島七太郎が師匠の跡を継ぎ，備後一円に能楽を普及させました。

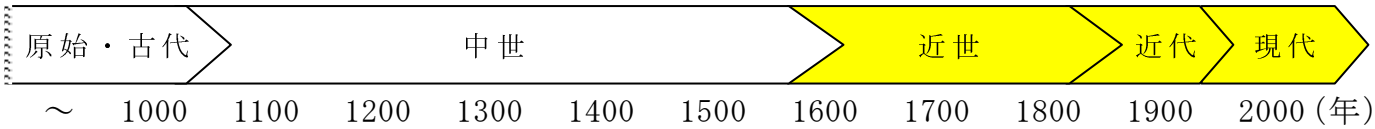
七太郎の長男寿太郎は，1914（大正３）年に福山市の新馬場町（今の霞町）に能舞台を建て，1917（大正６）年には能楽「鞆浦」を創作し演能しました。その後，戦災で能舞台は焼け落ちますが，３代目久見がこれを再建し，後には能楽堂を建てて喜多流能楽教室（現在の定例鑑賞能）を立ち上げました。

能楽堂
（喜多流大島能楽堂提供）

現在は，４代目政允を中心に能楽の普及活動を行い，活動の場は，県内のみならず，全国あるいは海外へ広がり内外から高く評価されています。

また，喜多流大島能楽堂では，学校への出張授業や能の体験活動が行われ，県内の多くの学校が参加しています。

10　日本の伝統産業とひろしま　～熊野筆（くまのふで）～



1　熊野筆とはどのようなものでしょうか？

広島県安芸郡熊野町は，熊野筆で知られた筆の一大産地で，全国の筆の生産量の約85％を占めており，「筆の都」と呼ばれています。人口約25,000人の町で，筆生産に従事（じゅうじ）する人は約2,600人です。これは町民の約10％に当たります。

熊野筆（熊野町提供）

熊野筆は，伝統的技術を引き継ぎながらも，需要（じゅよう）の変化に合わせた新技術，新製品の開発を進めるなど，職人の努力により，熊野から世界にはばたく企業も現れています。

熊野筆の生産状況	
企業数	135社
従事者数	約2,600名
伝統工芸士	22名

（平成25年11月現在）

一本の筆は，墨（すみ）を含ませる穂首（ほくび）部分と手に持つ軸（じく）部分に分けられます。現在では，穂首の毛の原料となる動物の毛は中国やカナダなどから輸入しています。また，軸の材料となる竹や木は，岡山県などから仕入れたり，中国や韓国などから輸入したりしています。

手作業で穂首づくりをする伝統工芸士
（熊野町提供）

このように，熊野筆は原材料がまったくとれない状況で発展してきたことが特徴です。筆づくりは，穂首づくり工程，軸づくり工程等に分かれますが，各工程は職人がすべて手作業で行います。このことが評価されて，1975（昭和50）年，熊野筆は広島県で初めて国から伝統的工芸品の指定を受けました。この伝統的工芸品の製造に従事している職人のうち，高度の技術・技法を持ち，その技を後世の代に伝える者として認められたのが伝統工芸士です。

2013（平成25）年11月現在，熊野筆に従事する職人のうち，22名が伝統工芸士に認定されています。

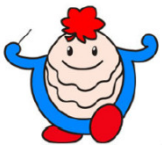
現在，広島県の筆としては，熊野筆，川尻筆が経済産業大臣の指定する伝統的工芸品となっています。

2　なぜ，熊野で筆が生産されるようになったのでしょうか？

江戸時代の熊野は，農民の多くが農作業のない時期に，紀伊国（和歌山県）の熊野地方や大和国（奈良県）の吉野地方に出稼ぎへ行きました。その帰りに奈良に立ち寄った農民が筆や墨を仕入れ，諸国に行商をしながら熊野に帰りました。ここから熊野と筆の結び付きができたのです。

熊野の筆づくりは，江戸時代後期に佐々木為次が摂津国（兵庫県）有馬で筆づくりを学んだことに始まります。また，井上治平は広島藩の筆職人吉田清蔵から筆づくりを学び，同じ頃，音丸常太も有馬で筆づくりを学び，村民に筆づくりを伝えたといわれています。

このように，江戸時代後期に特徴的な産業のなかった熊野では，筆づくりを新しい産業として取り入れ，生産が始まったのです。



熊野筆はどのようにして発展し，現在に受け継がれているのでしょうか？

3　熊野筆はどのようにして発展し，現在に受け継がれているのでしょうか？

明治になり，1872（明治５）年には学制が発布されて，学校教育に筆が使われるようになりました。熊野筆は 1877（明治 10）年，東京で開催された内国勧業博覧会で入賞し，注目されました。ここから熊野筆の需要が増え，明治の後期から昭和の初めのころに最盛期を迎えました。

しかし，戦争で出征などにより熊野筆の職人の多くが奪われました。また，戦後，教科としての「習字」が廃止され，毛筆の需要も落ち込みました。これは全国の筆産地でも同様でした。また，戦後の生活様式の変化に伴って，筆の需要が低下した結果，筆づくりは衰えていきました。この困難な時期，熊野では筆づくりの伝統技術を活かして画筆や化粧筆を開発し，次第に盛り返していきます。

1971（昭和 46）年，学校教育における「習字」の復活により，再び毛筆の生産量が増加し，現在，熊野筆は日本一の筆の生産量を誇っています。

種類	年	生産量	生産額	全国に占める割合
毛筆	昭和 60 年 12 月	3,600 万本	65 億円	80%
	平成 12 年 12 月	3,500 万本	45 億円	80%
画筆	昭和 60 年 12 月	4,000 万本	28 億円	70%
	平成 12 年 12 月	3,500 万本	20 億円	85%
化粧筆	昭和 60 年 12 月	4,800 万本	20 億円	70%
	平成 12 年 12 月	3,500 万本	20 億円	90%

熊野筆の生産データ（「熊野町商工会 75 周年記念誌」（2003 年））

4　熊野町では，筆のまちとして伝統を受け継ぐため，どのような取組が行われているのでしょうか？

熊野町では，毎年秋分の日に「筆まつり」が開催されています。この祭りは1935（昭和10）年から始まり，町内の榊山神社境内や隣接の熊野中学校を会場として行われています。筆供養，大書の実演，筆おどり，筆みこし，古くから伝わる彼岸船の引き回しなどが行われ，三筆の一人嵯峨天皇をしのび，熊野筆の元祖とされている井上治平，音丸常太，佐々木為次の功労を感謝する意味がこめられています。

筆まつり（熊野町提供）

1931（昭和６）年から継続される「全国書画展覧会」も毎年開催され，全国の小中学生から数十万点の作品の応募があります。

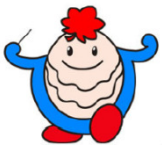
また，2007（平成19）年からは春分の日を「筆の日」と定め，町民が筆を持ち，創作活動に参加するイベントを開催しています。その他にも筆の博物館である筆の里工房や，絵てがみの交流拠点である筆の街交流館「K-JIN」を中心に筆文化の発信に町全体で取り組んでいます。

「大作席書」筆まつり（熊野町提供）

2011（平成23）年，サッカー日本女子代表「なでしこジャパン」が国民栄誉賞を受賞し，その記念品として，熊野町のメーカーで作られた化粧筆が贈呈されました。熊野町の筆づくりに携わる人々は，筆づくりの伝統と技術を守るだけでなく，その良さを生かしながら常に新しい技術の開発に取り組んでいます。近年は，書筆，化粧筆をはじめ，絵てがみ用の筆，アニメ筆など多様な筆が作られています。

筆の里工房（安芸郡熊野町）

なでしこジャパンに贈られたものと同じ化粧筆のセット
（竹田ブラシ製作所提供）



熊野筆はどのように発展し，現在に受け継がれたのか，調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○筆づくりを行っている工房に実際に行って調べてみよう！
・筆づくりはどのような手順で行われ，どのような技術が必要なのでしょうか。
・新しい用途の筆にはどんなものがあり，どのように開発されたのでしょうか。
○身近な地域の伝統産業を調べてみよう！
・地域の伝統産業はどのようにして生まれ，現在まで継承されてきたのでしょうか。

◇筆の里工房
住所：安芸郡熊野町中溝 5-17-1　　TEL：082 - 855 - 3010　HP
※筆の博物館で，筆の歴史の展示をはじめ，伝統工芸士による筆づくりの実演，筆文化の拡がりを紹介する書や絵画などの企画展を開催しています。
◇筆の街交流館K-JIN
住所：安芸郡熊野町出来庭 5-15-6　　TEL：082 - 847 - 5709　HP
※平成 22 年 9 月に筆の街の交流拠点としてオープンしました。ギャラリー作品展をはじめ，絵てがみや筆づくり体験も実施しています。

【もっと知りたい！郷土の歴史】

広島県の伝統的工芸品

1974（昭和 49）年，「伝統的工芸品産業の振興（しんこう）に関する法律」が制定されました。この法律により，経済産業大臣に指定された伝統的工芸品の品目数は，全国に 218 点あり，広島県内では次の 5 点が指定されています。

工芸品	主要製造地域	おもな製品	指定年
熊野筆	安芸郡熊野町	毛筆　画筆　化粧筆	1975（昭和 50）年
広島仏壇（ぶつだん）	広島市，三原市，福山市，府中市，三次市　ほか	金仏壇	1978（昭和 53）年
宮島細工	廿日市市	しゃもじ　彫刻	1982（昭和 57）年
福山琴（こと）	福山市	琴	1985（昭和 60）年
川尻筆（かわじり）	呉市	書道用筆	2004（平成 16）年

※平成 25 年 12 月現在

広島県は次の 9 点を伝統的工芸品に指定しています。

■ 一国斎高盛絵（いっこくさいたかもりえ）　（硯箱（すずり）　飾り盆　茶道具：広島市）
■ 銅蟲（どうちゅう）　（花瓶（かびん）　飾皿　茶道具　文具：広島市）
■ 矢野かもじ　（かつら　ヘアピース　医療用ウィッグ：広島市）
■ 三次人形　（人形：三次市）
■ 大竹手打刃物　（包丁　鎌（かま）：大竹市）
■ 宮島焼　（花器　食器　茶器：廿日市市）
■ 戸河内刳物（とごうちくりもの）　（杓子（しゃくし）　茶さじ　コーヒースプーン：安芸太田町）
■ 戸河内挽物（ひきもの）　（すし鉢　茶たく　盆　花立：安芸太田町）
■ 備後絣（びんごがすり）　（着尺地（きじゃくじ）　袋物　暖簾（のれん）　テーブルセンター：福山市）

三次人形

広島県名誉県民

井伏鱒二（いぶせますじ）

明治 31 年２月 15 日福山市に生まれる。小説家。数多くのすぐれた作品を発表し，我が国近代文学史上，まれにみるユニークな文学を樹立。短編の名手とも呼ばれている。

代表作に「山椒魚」「ジョン万次郎漂流記」「本日休診」「漂民宇三郎」「黒い雨」などがある。

昭和 41 年　文化勲章受章

平成５ 年７月 10 日　逝去

灘尾弘吉（なだおひろきち）

明治 32 年 12 月 21 日佐伯郡大柿町に生まれる。昭和 27 年から 31 年間にわたり，衆議院議員として活躍。この間，文部大臣（６回），厚生大臣（１回）を歴任，また，昭和 54 年には第 61 代衆議院議長に就任。全国社会福祉協議会会長として社会福祉の充実に努める。

昭和 57 年　勲一等旭日桐花大綬章受章

平成６ 年１月 22 日　逝去

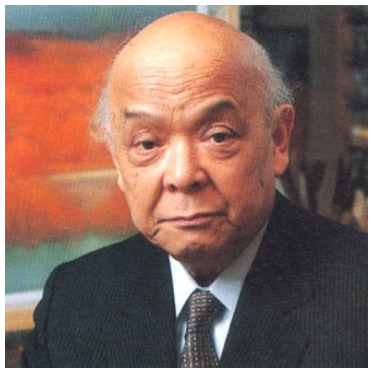
織田幹雄（おだみきお）

明治 38 年３月 30 日安芸郡海田町に生まれる。昭和３年第９回オリンピック・アムステルダム大会の三段跳びにおいて 15 メートル 21 センチを記録し，我が国に初めての金メダルをもたらす。国際陸上競技連盟，日本陸上競技連盟の各役員を歴任，陸上競技の普及発展に努める。

昭和 63 年　文化功労者

平成 10 年 12 月２日　逝去

奥田元宋（おくだげんそう）



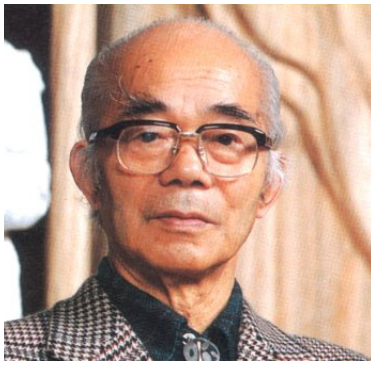
明治 45 年６月７日双三郡吉舎町に生まれる。日本画家。近代ヨーロッパの色彩表現と水墨画の伝統を融合して，日本的風景画に精神性の高い独自の新朦朧体という表現方式を確立し，日本画壇の重鎮として，不動の評価を得る。

代表作に「待月」「磐梯」「秋山紅雨」「奥入瀬」などがある。

昭和 59 年　文化勲章受章

平成 15 年２月 15 日　逝去

圓鍔勝三（えんつばかつぞう）



明治 38 年 11 月 30 日御調郡御調町に生まれる。彫刻家。木彫を基調としながら，石，ブロンズ，樹脂など多様な素材を駆使し，他に類のない独自の領域を開拓。現代感覚の表現に抜群の新鮮さを持つ作風は，高い評価を得ている。

代表作に「星陽」「しろうさぎ」「土器を持つ女」「旅情」などがある。

昭和 63 年　文化勲章受章

平成 15 年 10 月 31 日　逝去

岡田善雄（おかだよしお）

昭和３年３月 10 日呉市に生まれる。大阪大学名誉教授。昭和 32 年，世界で最初に，細胞融合に関する論文を発表。生体外における細胞融合の条件の決定やヒトをはじめ広範囲の細胞どうしをセンダイウイルスにより融合させることができることなどを知見し，細胞融合法を，新しいバイオテクノロジーの大きな柱として確立する道を開く。

昭和 62 年　文化勲章受章

平成 20 年１月 16 日　逝去

平山郁夫（ひらやまいくお）

昭和５年６月 15 日豊田郡瀬戸田町に生まれる。日本画家。仏教を主題にした幻想的な作風を確立し，シルクロードシリーズなどの連作で日本画壇に清新の境地を開拓するとともに，アンコール遺跡をはじめとする世界各地の文化遺産の保護活動に尽力。

代表作に「仏教伝来」「入涅槃幻想」「広島生変図」「祇園精舎」などがある。

平成 10 年　文化勲章受章

平成 21 年 12 月２日　逝去

阿川弘之（あがわひろゆき）

大正９年 12 月 24 日広島市に生まれる。小説家。昭和という激動の時代に遭遇した人間の悲哀を浮き彫りにした作風により，文学界に独自の分野を開拓し，その卓識と丹精な文体は多くの読者の敬愛を集めている。

代表作に「春の城」「雲の墓標」「山本五十六」「志賀直哉」などがある。

平成 11 年　文化勲章受章

井口洋夫（いのくちひろお）

昭和２年２月３日広島市に生まれる。東京大学名誉教授。昭和 25 年，有機半導体の概念を発見した。それまで絶縁体と思われていた有機化合物に電気を導くものがあることを発見し，これを電気電子材料として用いるという全く新しい発想のもとに，現在の分子エレクトロニクスに至る広大な分野を開拓・先導してきた。

平成 13 年　文化勲章受章

新藤兼人（しんどうかねと）

明治 45 年４月 22 日広島市に生まれる。シナリオ作家・映画監督。一貫して人間の内面をテーマとした作品づくりに当たり，数多くの名作・話題作がある。その根底にある人間に対する深い信頼と愛情で，多くの人々に幅広い共感を得ている。

代表作に「原爆の子」「裸の島」「竹山ひとり旅」「午後の遺言状」「三文役者」などがある。

平成 14 年　文化勲章受章

平成 24 年５月 29 日　逝去

宮澤喜一（みやざわきいち）

大正８年 10 月８日に生まれる。昭和 28 年参議院議員に初当選，昭和 42 年からは衆議院議員として連続 12 回当選。この間，内閣総理大臣をはじめ，大蔵大臣，経済企画庁長官などの要職を歴任するなど，50 年にわたり，国政をリード。政治・経済・外交の指導者として，わが国の繁栄と世界平和の推進に努める。

平成 15 年　福山市名誉市民

平成 19 年６月 28 日　逝去

三宅一生（みやけいっせい）

昭和 13 年４月 22 日広島市に生まれる。衣服デザイナー。平面である布と立体としての身体との関係を独自の眼で捉え直し，「一枚の布」という画期的な衣服づくりの概念を世界に広めた。長年にわたり常に第一線でファッション界をリードするとともに，日本のみならず世界各地で活躍し，国際的にも高い評価を獲得している。

平成 22 年　文化勲章受章

※広島県ホームページ「広島県名誉県民」による

(http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kennsyou/1168847256781.html)

◇　主な参考文献一覧　◇

1　明治維新とひろしま　～千田貞暁～
- 長野正孝編著『広島湾発展史』中央書店，1982 年
- 広島市編『新修広島市史第５巻』1962 年
- 小久保均著『流れてやまず』渓水社，1979 年

2　富国強兵とひろしま　～軍港　呉～
- 呉市史編さん室編『呉の歩み』呉市役所，2002 年
- 下中邦彦著『日本歴史地名体系 35　広島県の地名』平凡社，1982 年
- 呉市教育委員会編『子どもたちに語り継ぐ呉の歴史絵本』2005 年
- 呉市編『呉市統計書』1969 年

3　明治時代の民衆とひろしま　～海外への移民～
- 広島県『広島県移住史―通史編―』1993 年
- 広島県『広島県移住史―資料編―』1991 年
- 『近代百年と移民』雄山閣出版，1978 年
- 小林正典著『日系移民，海外移住　異文化交流の今昔』今井書店，2004 年
- 有元正雄他著『広島県の百年』山川出版社，1983 年

4　第一次世界大戦とひろしま　～加藤友三郎～
- 田辺良平著『加藤友三郎』春秋社，2004 年
- 工藤美知尋著『海軍大将加藤友三郎と軍縮時代』光人社，2011 年
- 今井清一著「日本の歴史 23　大正デモクラシー」中央公論社，1977 年

5　第二次世界大戦とひろしま　～原爆ドーム～
- 広島都市生活研究会編『広島被爆 40 年史都市の復興』1985 年
- 浜井信三著，原爆市長復刻版刊行委員会編『原爆市長』シフトプロジェクト，2011 年
- 広島市編『広島新史 社会編』1985 年
- 広島市編『広島新史 市民生活編』1983 年

6　戦後復興とひろしま　～産業～
- 後藤陽一著『広島県の歴史』山川出版社，1978 年
- 広島県立文書館編『開発の時代』2008 年

7　高度経済成長とひろしま　～池田勇人～
- 藤井信幸著『池田勇人』ミネルヴァ書房，2012 年
- 吉村克己著『池田政権・一五七五日』行政問題研究所出版局，1985 年
- 『池上彰と学ぶ日本の総理　池田勇人』小学館，2012 年
- 伊藤昌哉著『日本宰相列伝 21　池田勇人』時事通信社，1985 年
- 宮沢喜一述，御厨貢・中村隆英編『聞き書宮澤喜一回顧録』岩波書店，2005 年

8　日本の伝統芸能とひろしま　～壬生の花田植～
- 真下三郎著『広島県の囃し田』渓水社，1991 年
- 千代田町役場編『千代田町史民俗編』2000 年
- 飯田道夫著『田楽考』臨川書店，1999 年
- 三村泰臣『広島の神楽探訪』南之社，2004 年

9　日本の伝統文化とひろしま　～上田宗箇～
・矢部良明著『武将茶人，上田宗箇』角川学芸出版，2006 年
・渡好美著『上田宗箇とその時代』渓水社，1994 年
・久野治著『古田織部とその周辺』鳥影社，2009 年

10　日本の伝統産業とひろしま　～熊野筆～
・佐中忠司著『伝統産業 筆づくり』文理閣，2013 年
・熊野町編『安芸熊野町史 通史編』1987 年
・『広島県文化百選３ 民芸・民具編』中国新聞社，1984 年
・加藤秀俊他編『人づくり風土記 34』農産漁村文化協会，1991 年
・75 周年記念誌編集委員会編『熊野町商工会 75 周年記念誌』熊野町商工会，2003 年

◇広島県の歴史全般について
・岸田裕之編『広島県の歴史』山川出版社，1999 年
・広島県編『広島県史近代１』1980 年
・広島県編『広島県史近代２』1981 年
・広島県の歴史散歩編集委員会編『広島県の歴史散歩』山川出版社，2009 年
・荒川正己他著『図説　広島市の歴史』郷土出版社，2001 年
・浅尾哲三他著『図説　廿日市・大竹・厳島の歴史』郷土出版社，2001 年
・井出博之他著『図説　福山・府中の歴史』郷土出版社，2001 年
・朝井柾善他著『図説　尾道・三原・因島の歴史』郷土出版社，2001 年
・有川義晴他著『図説　東広島・竹原・呉の歴史』郷土出版社，2001 年
・赤迫敬三他著『図説　備後・安芸吉田の歴史』郷土出版社，2001 年
・山本博文監修『あなたの知らない広島県の歴史』洋泉社，2012 年
・松井輝昭・池田明子編著『広島県　謎解き散歩』新人物往来社，2011 年

◇　協力機関・協力者一覧　◇

【協力機関】
入船山記念館／上田流和風堂／大竹市／加藤友三郎顕彰会／株式会社ディスコ／株式会社ミカサ／株式会社モルテン／北広島町教育委員会／喜多流大島能楽堂／熊野町／呉港／呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）／芸北民俗芸能保存伝承館／ＪＦＥスチール西日本製作所／鈴木三重吉赤い鳥の会／生活資料館・ハワイ移民資料館・仁保島村／世羅町教育委員会／竹田ブラシ製作所／たけはら美術館／チューリップ株式会社／トヨタテクノミュージアム産業技術記念館／萬国製針株式会社／広島県立図書館／広島県立文書館／広島県立歴史博物館／広島県立歴史民俗資料館／広島市教育委員会／広島市郷土資料館／広島市公文書館／広島市市民局文化スポーツ部文化振興課／広島市立中央図書館／広島日米協会／広島平和記念資料館／筆の里工房／筆の里交流館／マツダ株式会社／鈩協同組合広島県連合会
【協力者】
大野裕之／岸田哲平／岸田貢宜／岸本坦／岸本吉太／兒玉正昭／末友明／堤憲明／山之上弘子
（50 音順，敬称略）

◇　主な歴史博物館・資料館一覧　◇

市町	博物館・資料館等の名称	住所	連絡先
広島市	広島平和記念資料館	広島市中区中島町 1-2	082-241-4004
	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館	広島市中区中島町 1-6	082-543-6271
	広島市郷土資料館	広島市南区宇品御幸 2-6-20	082-253-6771
	頼山陽史跡資料館	広島市中区袋町 5-15	082-542-7022
	広島城	広島市中区基町 21-1	082-221-7512
	広島県立文書館	広島市中区千田町 3-7-47	082-245-8444
	広島県立美術館	広島市中区上織町 2-22	082-221-6246
福山市	広島県立歴史博物館	福山市西町 2-4-1	084-931-2513
	福山城博物館	福山市丸之内 1-8	084-922-2117
	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	福山市鞆町後地 536-1	084-982-1121
	福山市人権平和資料館	福山市丸之内 1-1-1	084-924-6789
	福山市しんいち歴史民俗博物館	福山市新市町大字新市 916	0847-52-2992
	菅茶山記念館	福山市神辺町大字新湯野 30-2	084-963-1885
	福山市神辺歴史民俗資料館	福山市神辺町大字川北 6-1	084-963-2361
	福山市田尻民俗資料館	福山市田尻町 1945-2	084-956-0219
	福山市山野民俗資料館	福山市山野町山野 3782	―
	国際聚蔵館	福山市元町 7-2	084-926-9315
	日本はきもの博物館	福山市松永町 4-16-27	084-934-6644
	日本郷土玩具博物館	福山市松永町 4-16-27	084-934-6644
	福山自動車時計博物館	福山市北吉津町 3-1-22	084-922-8188
	弥勒之里美術館	福山市沼隈町上山南黒瀬西 70	084-988-1234
呉市	呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）	呉市宝町 5-20	0823-25-3017
	呉市入船山記念館	呉市幸町 4-6	0823-21-1037
	長門の造船歴史館	呉市倉橋町 171-7	0823-53-0016
	倉橋歴史民俗資料館	呉市倉橋町 440	0823-53-2010
	安浦歴史民俗資料館	呉市安浦町内海南 2-13-10	0823-84-6421
竹原市	竹原市歴史民俗資料館	竹原市本町 3-11-16	0846-22-5186
	松阪邸	竹原市本町 3-9-22	0846-22-5474
	森川邸	竹原市中央 3-16-33	0846-22-8118
	町並み保存センター	竹原市本町 3-11-7	0846-22-1473
東広島市	東広島市三永歴史民俗資料館	東広島市西条町下三永 930	082-420-0977
	東広島市八本松歴史民俗資料館	東広島市八本松南 2-1-2	082-428-5713
	東広島市安芸津歴史民俗資料館	東広島市安芸津町三津 4398	0846-45-2334
	東広島市立中央図書館内三ツ城古墳ガイダンスコーナー	東広島市西条中央 7-25-11	082-424-9449
	東広島市出土文化財管理センター	東広島市河内町中河内 651-7	082-420-0977
	東広島市立美術館	東広島市八本松南 2-1-3	082-428-5713
廿日市市	廿日市市宮島歴史民俗資料館	廿日市市宮島町 57	0829-44-2019
	佐伯歴史民俗資料館	廿日市市玖島 4368	―
	吉和歴史民俗資料館	廿日市市吉和 3523-1	―
府中町	府中町歴史民俗資料館	安芸郡府中町本町 2-14-1	082-286-3260
海田町	海田町ふるさと館	安芸郡海田町畝 2-10-20	082-823-8396
熊野町	熊野町郷土館	安芸郡熊野町中溝 3-12-26	082-855-2559
	筆の里工房	安芸郡熊野町中溝 5-17-1	082-855-3010

市町	博物館・資料館等の名称	住所	連絡先
大崎上島町	大崎郷土資料館	豊田郡大崎上島町中野 2067-5	0846-64-3055
	木江ふれあい郷土資料館	豊田郡大崎上島町沖浦 1911	0846-62-0005
	海と島の歴史博物館・大望月邸	豊田郡大崎上島町東野 2721-1	0846-67-3229
安芸高田市	安芸高田市歴史民俗博物館	安芸高田市吉田町吉田 278-1	0826-42-0070
北広島町	芸北歴史民俗博物館	山県郡北広島町西八幡原 867	0826-37-0048
	大朝郷土資料館	山県郡北広島町新庄 1031-1	0824-82-3775
	芸北民俗芸能保存伝承館	山県郡北広島町有田 1234	050-5812-5088
	千代田歴史民俗資料館	山県郡北広島町古保利 226	0826-72-5040
	どんぐり資料館	山県郡北広島町都志見 2609	0826-84-1313
	戦国の庭歴史館	山県郡北広島町海応寺 255-1	0826-83-1785
三原市	三原市歴史民俗資料館	三原市円一町 2-3-2	0848-62-5595
	久井歴史民俗資料館	三原市久井町江木 43-1	0847-32-6883
尾道市	尾道市立美術館	尾道市西土堂町 17-19	0848-23-2281
	おのみち歴史博物館	尾道市久保 1-14-1	0848-37-6555
	尾道市御調歴史民俗資料館	尾道市御調町丸河南 86-1	0848-25-7367
	尾道市向島郷土文化保存伝習施設	尾道市向島町立花 2200	0848-45-2319
	尾道市因島史料館	尾道市因島中庄町 3222-2	0845-24-0887
	尾道市瀬戸田歴史民俗資料館	尾道市瀬戸田町瀬戸田 254-2	0848-25-7367
府中市	府中市歴史民俗資料館	府中市土生町 882-2	0847-43-4646
	府中市上下歴史文化資料館	府中市上下町上下 1006	0847-62-3999
	府中市河面谷民俗資料館	府中市河面町 977	0847-43-4663
世羅町	世羅町世羅郷土民俗資料館	世羅郡世羅町大字賀茂 3132-2	0847-22-4411
	世羅町せらにし郷土民俗資料館	世羅郡世羅町大字黒川 455	0847-22-4411
	世羅町大田庄歴史館	世羅郡世羅町大字甲山 159	0847-22-4646
神石高原町	神石高原町立神石民俗資料館	神石郡神石高原町永野 37-13	0847-86-0151
三次市	広島県立みよし風土記の丘・広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町 122	0824-66-2881
	三次市歴史民俗資料館	三次市三次町 1236	0824-64-3517
	吉舎町歴史民俗資料館	三次市吉舎町吉舎 545-1	0824-43-2331
	三和郷土資料館	三次市三和町敷名 1496	—
	三良坂民俗資料館	三次市三良坂町灰塚 8-2	—
庄原市	庄原市歴史民俗資料館	庄原市西本町 2-20-10	0824-72-1159
	庄原市西城歴史民俗資料館	庄原市西城町大佐 739-1	0824-82-2445
	庄原市宮田武義記念館	庄原市西城町大佐 739-1	0824-82-2445
	時悠館	庄原市東城町帝釈末渡 1909	08477-6-0161
	庄原市口和郷土資料館	庄原市口和町永田 9	0824-87-2230
	庄原市比和郷土文化保存伝習施設	庄原市比和町比和 1119-1	0824-85-3005
	庄原市立比和自然科学博物館	庄原市比和町比和 1119-1	0824-85-3005
	庄原市総領郷土資料館	庄原市総領町下総領 278	0824-88-3067

【参考】広島県歴史民俗資料館等連絡協議会「平成24年度広島県歴史民俗資料館等職員ならびに県内文化財担当者一覧」

◇「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」検討委員

佐藤　隆吉（広島県教育委員会事務局教育部長）

棚橋　健治（広島大学大学院教育学研究科教授　学長特命補佐）

植田千佳穂（広島県教育委員会事務局管理部文化財課長）

加藤　　謙（広島県立歴史民俗資料館長）

和田　吉弘（広島市立大塚中学校長）

河田　敦之（広島県立広島国泰寺高等学校長）

◇「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」作成委員

上戸田光史（呉市立安浦中学校　教諭）

朝倉　仁美（東広島市立中央中学校　教諭）

丸山　博章（安芸高田市立八千代中学校　教諭）

角谷　真司（三原市立久井中学校　教諭）

小野　大助（福山市立城南中学校　教諭）

北村　　一（竹原市立吉名中学校　教諭）

斉藤　弘樹（熊野町立熊野中学校　教諭）

三浦　敏忠（尾道市立因北中学校　教諭）

竹村　泰則（三次市立三次中学校　教諭）

沖野　　徹（広島市立亀山中学校　教諭）

藤山　英人（広島県西部教育事務所　指導主事）

川上　貴志（広島県西部教育事務所芸北支所　指導主事）

向井　昌行（広島県東部教育事務所　指導主事）

阿部由貴子（広島県教育委員会事務局教育部高校教育指導課　指導主事）

髙林　賢治（広島県立教育センター教科教育部　指導主事）

花本　哲志（広島県教育委員会事務局管理部文化財課　指導主事）

久下　　実（広島県立歴史博物館　主任学芸員）

田邊　英男（広島県立歴史民俗資料館　主任学芸員）

◇「郷土ひろしまの歴史」事務局

広島県教育委員会事務局教育部義務教育指導課

（所属・役職は，平成２６年３月現在）

発行　広島県教育委員会
〒730-8514
広島県広島市中区基町９番42号
電話　　082-513-4976
ＦＡＸ　082-222-1468